第８次豊田市総合計画
後期実践計画事業集
（2022 年度版）

豊田市

目　次

1　実践計画事業集について　・・・　1

（1）後期実践計画事業とは　・・・　1

（2）実践計画ローリングとは　・・・　1

（3）後期実践計画事業集とは　・・・　1

2　２０２１年度ローリング概要　・・・　3

（1）ローリングのポイント　・・・　3

（2）ローリングの流れ　・・・　3

（3）ローリング実施結果概要　・・・　4

3　ローリング総括　・・・　6

4　2022 年度における実践計画事業数・当初予算額　・・・　7

（1）全体概要　・・・　7

（2）施策体系別の事業数・2022 年度当初予算額　・・・　7

5　2022 年度実践計画事業一覧　・・・　10

（1）重点施策　・・・　11

（2）基本施策　・・・　19

6　参考資料　・・・　79

（1）SDGs 概要　・・・　79

（2）2022 年度 SDGs ゴール別実践計画事業数　・・・　81

1　実践計画事業集について

（１）後期実践計画事業とは

後期実践計画事業とは、第８次豊田市総合計画の基本構想の実現に向け、後期実践計画（2021 年～2024 年）に掲げた施策を推進するために注力して取り組む事業のことです。

基本構想	…	2040 年を目標年次とする長期的な展望の下、「将来都市像」や「めざす姿」など普遍的なまちづくりの方向性を定めたもの
実践計画	…	基本構想で明らかにした「将来都市像」と「めざす姿」の実現に向け、前期４年、後期４年の８か年に取り組む具体的な施策を掲げたものであり、市政経営の指針となるもの

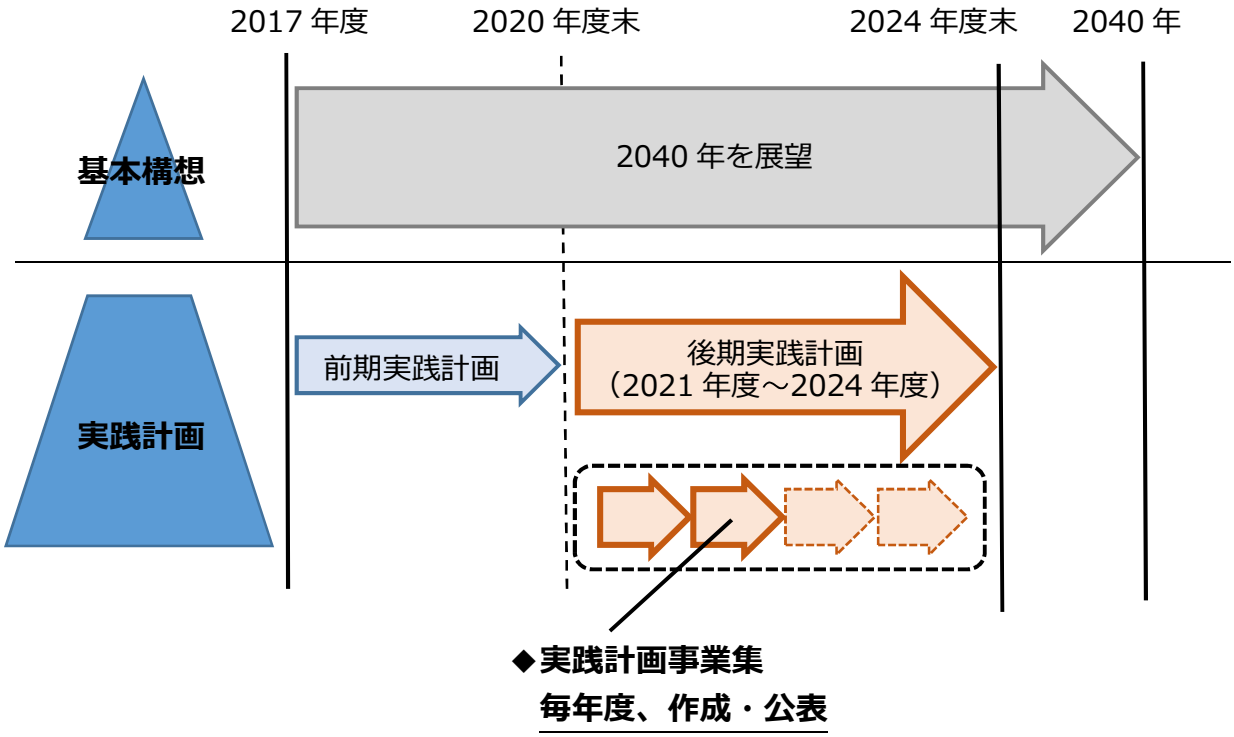
（２）実践計画ローリングとは

実践計画ローリング（以下、「ローリング」という。）とは、毎年度、実践計画事業の進捗を確認するとともに社会環境の変化等を踏まえて事業の見直しや新規事業の立案を行い、予算編成に反映する手法です。

（３）後期実践計画事業集とは

後期実践計画事業集は、ローリングの結果を踏まえ、後期実践計画に位置付けた全ての事業の概要と当該年度の具体的な取組内容を示したものです。

第８次豊田市総合計画と実践計画事業集の関係



<備考>
後期実践計画本編図書では、見やすさ、わかりやすさを考慮し、主な実践計画事業として一部の事業のみを抜粋して掲載しています。実践計画事業集では、全ての実践計画事業を掲載します。

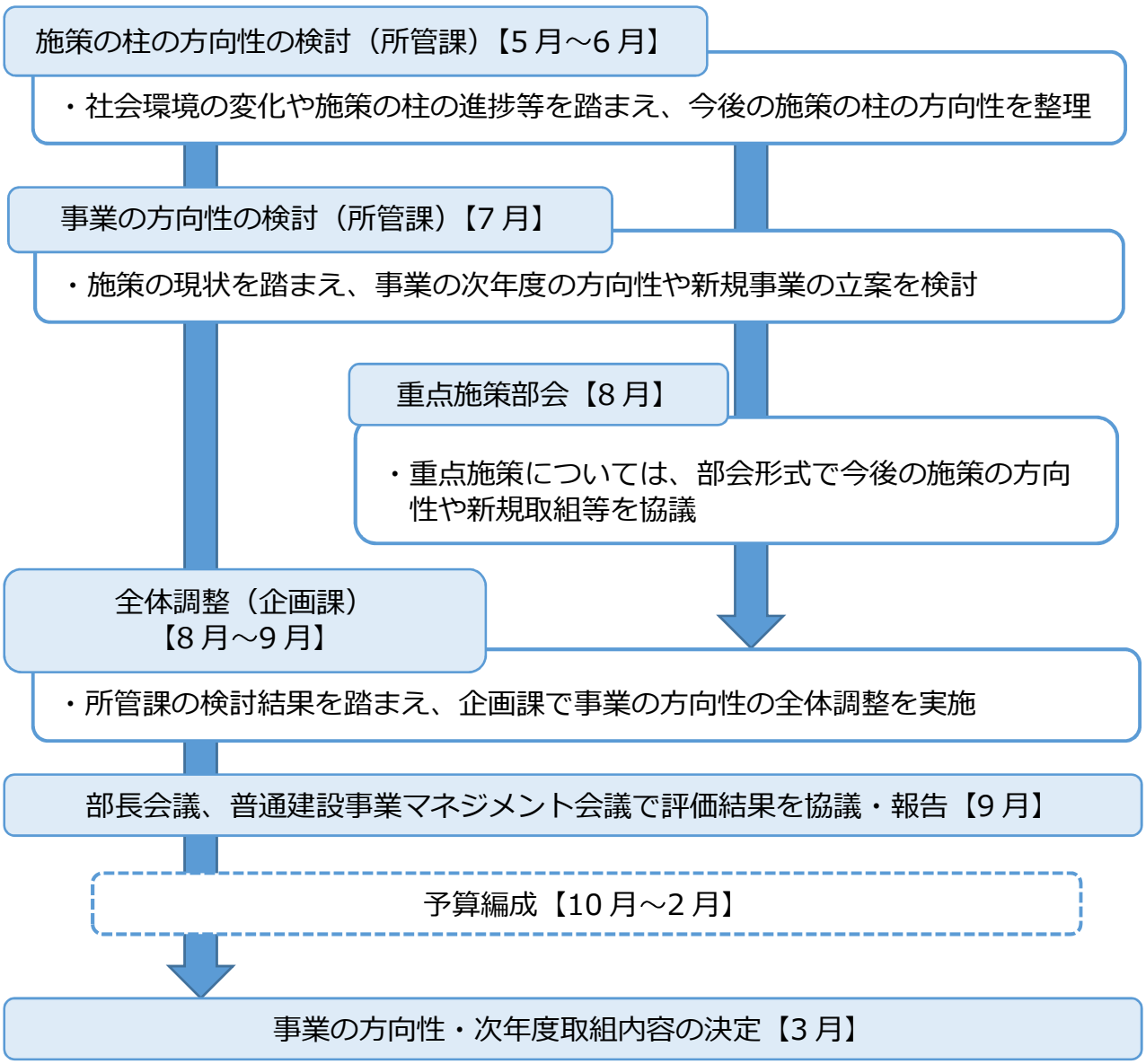
2　2021 年度ローリング概要

（1）ローリングのポイント

・施策の現状とめざす姿とのギャップを把握し、今後の施策の方向性等を整理した上で、次年度の事業の方向性を検討
・重点施策については、優先的・重点的に推進
・普通建設事業は、実践計画事業以外も含めた総合的かつ横断的な調整を実施

（2）ローリングの流れ

※今年度は後期実践計画策定初年度のため
施策の柱の方向性の検討は未実施



（３）ローリング実施結果概要

◆事業の方向性の定義
　新　規　：今年度から新たに実践計画に位置付けた事業
　拡　充　：前年度に比べ、規模の拡大や内容の改善を図る事業
　継　続　：前年度と同規模で今年度も継続して実施する事業
　縮　小　：前年度に比べ、規模や内容を縮小する事業
年度間調整：事業内容・期間を平準化する事業
　完　了　：前年度までに完了した事業

○事業の方向性別の事業数【重点施策】

施策名＼事業の方向性	新規	拡充	継続	縮小	年度間調整	完了	合計
超高齢社会への適応	—	3 (18%)	14 (82%)	—	—	—	17 (100%)
「ひと」と「しごと」が集まるミライへの投資	1 (6%)	4 (25%)	11 (69%)	—	—	—	16 (100%)
まちの課題解決力の強化	1 (8%)	3 (25%)	8 (67%)	—	—	—	12 (100%)
事業数合計（※）（再掲事業除く）	2 (5%)	10 (23%)	31 (72%)	—	—	—	43 (100%)

※再掲の事業を除いた合計数のため、各施策の方向性ごとの事業数の合計と一致しない。

○事業の方向性別の事業数【基本施策】

施策名＼事業の方向性	新規	拡充	継続	縮小	年度間調整	完了	合計
Ⅰ　子ども・子育て	—	4 (31%)	9 (69%)	—	—	—	13 (100%)
Ⅱ　生涯学習	—	5 (13%)	34 (85%)	—	—	1 (3%)	40 (100%)
Ⅲ　健康・福祉	1 (6%)	3 (17%)	14 (78%)	—	—	—	18 (100%)
Ⅳ　安全・安心	—	1 (3%)	35 (90%)	—	—	3 (8%)	39 (100%)
Ⅴ　産業・観光・交流	1 (3%)	5 (16%)	25 (78%)	—	—	1 (3%)	32 (100%)
Ⅵ　環境	—	1 (5%)	18 (95%)	—	—	—	19 (100%)
Ⅶ　都市整備	—	—	40 (100%)	—	—	—	40 (100%)
Ⅷ　地域経営	—	6 (25%)	17 (71%)	—	—	1 (4%)	24 (100%)
事業数合計（※） （再掲事業除く）	2 (1%)	22 (10%)	187 (86%)	—	—	6 (3%)	217 (100%)

※再掲の事業を除いた合計数のため、各施策の方向性ごとの事業数の合計と一致しない。

3　ローリング総括

後期実践計画１年目である 2021 年度は、3 つの重点施策を始めとした後期実践計画の着実な推進を図りつつ、カーボンニュートラルやデジタル化などの社会環境の変化等を踏まえて、2022 年度に向けた事業の検討・調整を行いました。

「超高齢社会への適応」では、官民連携介護予防「ずっと元気！プロジェクト」を引き続き実施するほか、介護人材支援事業を拡充し、介護サービス事業所の職員研修補助の新設等を行うことで、介護人材の定着とサービスの質の向上を図ることとしました。また、成年後見制度利用促進事業を拡充し、意思決定支援のモデル事業を実施していくこととしました。

「『ひと』と『しごと』が集まるミライへの投資」では、企業立地奨励事業を拡充し、カーボンニュートラル創エネ促進補助金を新設することで、市内中小企業における再生可能エネルギーの利用促進を図ることとしました。また、DX 促進事業を拡充し、新たに企業間の交流や連携を促すプラットフォームを構築することで、市内企業のデジタル化を促進することとしました。

さらに、ラリーを生かしたまちづくりの推進を新たに実践計画として位置付け、世界ラリー選手権（WRC）の継続的な誘致に向けた取組を実施するとともに、WRC と連動した地域振興につながるイベントの開催により、地域の観光資源の充実を図るなど、ラリーを生かした魅力的なまちづくりを推進することとしました。

「まちの課題解決力の強化」では、SDGs 未来都市推進事業を拡充し、とよた SDGs パートナーの認証制度を構築することで、パートナーの役割を「普及」から「行動」へ転換し、地域内経済循環の創出につなげていくこととしました。また、市役所のデジタル化・スマート化を拡充し、市民サービスの向上のため、AI・RPA を活用した「（仮称）窓口支援システム」を導入するなど、デジタルツールを用いた「行かない・書かない・待たない窓口」の実現に向けた取組を加速させることとしました。

基本施策では、2022 年 11 月のジブリパーク開園や WRC 開催を見据え、観光・交流分野で宿泊関連事業者等支援事業を新たに実施し、市内での宿泊や消費喚起につなげるとともに、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている宿泊関連事業者等の支援を図ることとしました。

また、都市基盤施設の整備や公共施設の維持管理などの普通建設事業については、財政計画と整合を図りながら、重点施策の実現や継続事業の早期完了、効果発現に向けて着実に推進するとともに、施設の安全対策や将来を見据えた修繕、改修等を計画的に実施していくこととしました。

4　2022 年度における実践計画事業数・当初予算額

（１）全体の概要※1

●**総事業数：222 事業（うち、新規：4 事業）**
重点施策：　43 事業（うち、新規：2 事業）
基本施策：211 事業（うち、新規：2 事業）

●**2022 年度当初予算額：40,221,860 千円**
重点施策：9,004,705 千円、基本施策：39,570,503 千円
<会計区分別>
一般会計：32,237,920 千円、特別会計：276,761 千円、
企業会計：　7,707,179 千円

※1：複数施策に位置付く事業を含むため、総事業数及び当該年度当初予算額は、各施策の事業数・当初予算額の計と一致しません。また、事業数には予算を伴わない事業及び着手前の事業を含みます。

（２）施策体系別の事業数・2022 年度当初予算額

■重点施策

（１）超高齢社会への適応	事業数	17
	予算額（千円）	2,078,530
柱①：生涯活躍の推進 柱②：安心して暮らせる地域包括支援体制の強化		
（２）「ひと」と「しごと」が集まるミライへの投資	事業数	16 (1※2)
	予算額（千円）	6,836,880
柱①：産業拠点としての機能強化 柱②：住み続けたいまちづくり		
（３）まちの課題解決力の強化	事業数	12(1)
	予算額（千円）	164,905
柱①：多様な「つながり」による豊かな暮らしの創出 柱②：持続可能な地域経営		

※2：カッコ内は、新規事業の内数

■基本施策

Ⅰ　子ども・子育て		事業数	13
		予算額（千円）	1,916,946
1　子育て	(1) 子どもの権利の保障 (2) 安心して子どもを生み育てられる環境の充実 (3) 安心して子どもを預けられる環境の整備		
Ⅱ　生涯学習		事業数	39
		予算額（千円）	7,596,541
1 学び・育ち	(1) 生き抜く力を育む学校教育の推進 (2) 安全・安心で快適に学べる教育環境の充実 (3) 地域による次世代人材の育成の促進 (4) まちへの誇りや愛着につながるものづくり学習の推進 (5) 高齢者が活躍できる環境の充実 (6) 女性が活躍できる環境の充実		
2 スポーツ	(1) スポーツ資源を生かした活力ある社会の実現		
3 歴史・文化	(1) 歴史や文化財の継承と魅力の発信 (2) 文化芸術を生かしたまちの魅力づくりの推進		
Ⅲ　健康・福祉		事業数	18(1)
		予算額（千円）	3,252,142
1 健康	(1) 誰もが健康づくりを継続できる環境の充実 (2) 健康危機への対応力の強化		
2 医療	(1) 必要な時に受診できる医療提供体制の確保		
3 福祉	(1) 高齢者が安心して生活できる支援体制の充実 (2) 障がい者が地域社会で共生できる環境の整備 (3) 生活困窮者が適切な支援を受けられる体制の確保		
Ⅳ　安全・安心		事業数	36
		予算額（千円）	3,921,886
1 防災・減災、国土強靱化	(1) 自助・共助・公助による災害対策の充実 (2) 防災・減災につながる都市機能の強化		
2 消防	(1) 自助・共助・公助による消防対応力の強化		
3 防犯	(1) 地域ぐるみの防犯体制の強化		
4 交通安全	(1) 交通安全意識の向上と安全な道路交通環境の実現		
Ⅴ　産業・観光・交流		事業数	31(1)
		予算額（千円）	4,075,319
1 農業	(1) 地域特性に応じた産業型農業の推進 (2) 地域が支える“食と農”の推進		
2 森林・林業	(1) 100 年先を見据えた安全・安心の森づくりの推進 (2) 地域材の生産・流通・利用の推進		

Ⅴ　産業・観光・交流　（前ページからの続き）			
3　ものづくり産業	(1) 地域産業の持続的発展に向けた企業力の強化 (2) 新たな産業を創造する基盤の構築		
4　商業・サービス業	(1) 中心市街地商業のにぎわいの創出 (2) 地域特性に応じた商業環境の整備		
5　観光・交流	(1) 多様な地域資源を生かした観光産業の振興 (2) 地域資源を生かしたまちづくりの推進		
6　労働	(1) 多様な働き方で多様な人材が活躍する環境の整備		
Ⅵ　環境		事業数	19
		予算額（千円）	768,409
1　脱炭素社会	(1) 脱炭素の実現に向けた未来都市の推進		
2　循環型社会	(1) 廃棄物の減量化・資源化と適正処理の推進		
3　自然共生社会	(1) 暮らしを豊かにする生物多様性の保全		
4　環境配慮行動	(1) 持続可能な社会を支える環境配慮行動の促進		
Ⅶ　都市整備		事業数	40
		予算額（千円）	17,566,848
1　市街地整備	(1) にぎわいのある魅力的な都心の形成 (2) 利便性の高い市街地の形成 (3) 多様なニーズに応える市街地定住の促進 (4) 憩いとうるおいをもたらす緑の空間の創出		
2　交通	(1) 生活・産業を支える道路ネットワークの形成 (2) 利便性が高く持続可能な公共交通ネットワークの形成 (3) 人と環境にやさしく安全で快適な交通まちづくりの推進		
3　上下水道	(1) 安全・安心な水道水の安定供給の実現 (2) 汚水の適正な処理による快適な生活環境の実現		
Ⅷ　地域経営		事業数	23
		予算額（千円）	1,273,698
1　共働	(1) 市民力・地域力・企業力を生かした共働のまちづくりの推進		
2　国際化	(1) 多様な市民が活躍できる国際まちづくりの推進		
3　山村振興	(1) 自立とつながりによる山村地域等の振興		
4　行政経営	(1) 未来を見据えた持続可能な行財政運営 (2) 公共施設等の適切な管理の推進 (3) 先進技術等を活用した地域課題解決の推進 (4) 共働による地域情報化の推進 (5) 戦略的な広域連携の推進		

5　2022 年度実践計画事業一覧

＜凡例＞

重点施策／基本施策名

重点施策／基本施策の下に
位置付く施策の柱名

⑤

○-○-(○)○○○○○○○○

施策の柱○：○○○○○○○○

①　②　③　④

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
新規	○○○○○○**事業** **〔**○○○○**課〕** ○○○○○○を生かす○○○○○○を活用し、○○○○○○取組を実施する。	・○○○○の実施 ・○○○○の設置 ・○○○○の運営	○

①	方向性	**「新規」**	今年度から新たに実践計画に位置付けた事業
		「拡充」	前年度に比べ、規模の拡大や内容の改善を図る事業
		「縮小」	前年度に比べ、規模や内容を縮小する事業
		「年度間調整」	事業内容・期間を平準化する事業
		「完了」	前年度までに完了した事業
		（空欄）	前年度と同規模で今年度も継続して実施する事業
②	実践計画事業名〔担当所属〕事業概要	事業の具体的な内容 （※2022 年度当初において、具体的な取組がない場合は「―」と表記）	
③	2022 年度実施概要		
④	再掲	複数の施策に位置付けられる事業は、2 回目以降の掲載に「○」を表記	
⑤	SDGs アイコン	SDGs で掲げる 17 のゴールのうち、関連する主なゴールを表記 （詳細は、P79「SDGs 概要」を参照）	

（１）重点施策

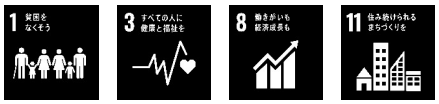
【重点施策１】超高齢社会への適応

施策の柱①：生涯活躍の推進

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	官民連携介護予防「ずっと元気！プロジェクト」〔未来都市推進課〕 民間の創意工夫を生かすソーシャル・インパクト・ボンドを活用し、趣味や運動、就労等を通じた社会参加機会を増やすなど、介護予防につなげる取組を実施	・社会参加機会を増やす民間プログラムの実施	
	きらきらウエルネス地域推進事業〔地域保健課〕 地域の健康関連データを中学校区ごとにまとめた地域健康カルテを基に、地域特性に応じた健康づくりを住民との共働により推進	・意見交換会等の実施、地域健康づくり事業計画の作成	
拡充	**地域スポーツ支援事業**〔スポーツ振興課〕 地域スポーツクラブやスポーツ推進委員の活動を様々な点から支援することで、身近な地域でのスポーツ機会を創出	・地域スポーツクラブやスポーツ推進委員との連携事業や活動支援	
	高齢者の活躍支援事業〔とよた市民活動センター〕 高齢者の市民活動や生きがいづくりを促進するための学び、相談、情報提供等の支援を実施	・シニアアカデミー（通年コース 3 学科、専門コース、はじめの一歩講座）の実施 ・卒業生の組織化支援及び活動把握・活動支援・活動 PR ・窓口相談、相談会開催、情報発信	
	シルバー人材センター就業創出事業〔市民活躍支援課〕 社会環境の変化や多様化する高齢者の就労ニーズに対応するため、労働者派遣や生活支援サービスなどの就業機会を創出	・就業機会の拡大 ・コーディネート機能の強化 ・企業等の退職者説明会での PR	

	就労支援事業〔産業労働課〕 若年者、中高年齢者、女性、定住外国人などに対する、スキルアップ支援やマッチングを実施	・就労支援セミナー、キャリアカウンセリングの実施 ・職業相談、職業紹介の実施 ・事業所と求職者との交流機会の提供	
	地域資源マップ整備事業 〔情報戦略課ほか〕 地域に点在する集いの場の情報を集約し、情報展開ツール（地域資源マップ）を作成	・地域資源マップの活用	

施策の柱②：安心して暮らせる地域包括支援体制の強化



方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	在宅医療・福祉連携推進事業 〔地域包括ケア企画課〕 本人の望む療養生活を全うできるよう、在宅医療と福祉の連携強化により在宅療養サービスを充実	・在宅医療・福祉連携推進計画の推進 ・ICT 技術の導入支援 ・訪問看護師育成センターの運営 ・総合療法士育成センターの運営	
拡充	**介護人材支援事業** 〔介護保険課〕 市民への理解促進、就職機会の支援、介護サービス関係者への研修、外国人受入れ支援、介護サービス事業所の運営改善の支援	・市民への出前講座 ・就職相談会 ・現任介護職員研修 ・外国人材への日本語学習等支援 ・外国人受入れ支援 ・キャリアアップ支援 ・介護職場環境向上支援 ・人材研修費等支援	
	介護施設整備事業 〔介護保険課〕 市民ニーズ、待機者、有料老人ホームの動向を加味し、必要な整備の実施	・認知症グループホームや看護小規模多機能型居宅介護などの施設整備を支援	
	重層的支援体制推進事業 〔福祉総合相談課〕 高齢や障がい、子ども、困窮など対象や年代を限定しない相談支援や、社会参加の支援、住民同士が支え合える地域づくりを実施	・福祉の相談窓口や社協 CSW による相談支援、地域支援の創出、伴走支援	

	総合的な認知症施策推進事業（支援チーム）〔高齢福祉課〕 認知症の人等の支援ニーズと、認知症サポーターを中心とした支援をつなぐ仕組みを構築し、支援チームとして共生の地域づくりを推進	・認知症サポーター養成講座等の実施及び活動支援に要する基盤整備（あいち電子申請・届出システムの活用を含む） ・支援チームの協力者への協力依頼とモデルチームへの支援	
	総合的な認知症施策推進事業（早期発見と社会参加）〔高齢福祉課〕 認知症の早期発見・対応と、認知症の人がそれぞれの個性に合わせたボランティアや就労などの場へ社会参加ができる仕組みの構築	・社会参加取組事例の拡充と企業・介護サービス事業所等と協働による基盤整備 ・認知症の人の本人発信支援（ピアサポート活動、ニーズ把握、早期発見） ・あいち電子申請・届出システムの活用検討	
拡充	**成年後見制度利用促進事業** 〔福祉総合相談課〕 成年後見制度の利用につながる相談体制の構築や、成年後見制度や権利擁護支援の活動に携わる人づくり・環境づくり等を実施	・成年後見支援センターの運営 ・市民後見人の養成・育成事業の見直し ・（仮）地域生活意思決定支援モデル事業の実施	
	豊田地域医療センター再整備事業 〔地域包括ケア企画課〕 高齢者の増加に伴う疾病構造の変化に合わせた増床と、建物の老朽化に対応し、市民の健康保持及び医療提供体制を充実	・外構、駐車場整備工事	
	先進技術を活用した地域リハビリテーションの推進〔地域包括ケア企画課〕 住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、先進技術等の実証・導入を通して、地域リハビリテーションを推進	・地域リハイノベーションセンターの運営 ・ロボット技術を活用した地域リハビリテーション医学の展開に関する寄附講座の継続	
	相互理解の促進と意思疎通の円滑化の推進事業〔行政改革推進課〕 地域共生社会の実現に向け、障がい者、外国人、高齢者、子ども等のうち、要配慮者に関する相互理解の促進及び意思疎通の円滑化を推進	・行動計画の推進	

【重点施策２】「ひと」と「しごと」が集まるミライへの投資

施策の柱①：産業拠点としての機能強化

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
拡充	**企業立地奨励事業**〔産業労働課〕 市内において新たに事業所を設置する企業及び事業規模を拡大する企業の投資に対し、奨励金を交付	・旧条例、新条例及び新要綱に基づく奨励制度の運用 ・カーボンニュートラル創エネ促進補助金の交付 ・企業訪問等による制度 PR	
	オープンイノベーション推進事業〔次世代産業課〕 開放特許等の新たな資源とのマッチングやピッチイベント等の開催により新製品開発や事業化を支援	・ベンチャーとのマッチングによる新製品・新サービス創出支援 ・ピッチイベント等による事業化支援	
拡充	**スタートアップ支援事業**〔次世代産業課〕 「ものづくり創造拠点 SENTAN」を活用したハッカソン等の開催による市内外からのスタートアップ候補の掘り起こしとスタートアップ支援制度の運用	・ハッカソン等の開催によるスタートアップの掘り起こし ・ものづくり創造補助金の交付 ・次世代航空モビリティの普及啓発及び参入促進	
	産業用地整備事業〔産業労働課、土地利用調整課〕 産業誘導拠点等に位置付けられた区域内で、産業用地整備を推進	・関係機関協議 ・産業用地整備に伴う各種検討	
拡充	**DX 促進事業**〔産業労働課〕 デジタル化の促進に向け、設備投資等への補助金、専門家の派遣、社内でデジタル化を推進できる人材を育成するための講座を実施	・デジタル化支援補助金の交付 ・テレワーク導入支援補助金の交付	

施策の柱②：住み続けたいまちづくり

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	市街化調整区域内地区計画の活用 〔定住促進課、都市計画課〕 鉄道駅周辺や市街化区域に隣接する地域等において、民間事業者による宅地開発を誘導	・制度の活用による民間宅地開発の誘導促進	
	住まい相談総合支援事業 〔定住促進課〕 多様な定住・居住ニーズに寄り添った支援体制を構築し、市民の住生活に係るワンストップサービスを展開	・住まいに関する横断的な情報と支援の提供 ・NPO 法人と連携し、専門的な知識を活かした住まいに関する相談機能の強化 ・定住希望者へ向けたセミナーの開催	
	定住促進プロモーション事業 〔定住促進課〕 定住促進プロモーション「ファースト暮らすとよた」を通じて、市内外の家族形成期を中心とした世代へ豊田市の魅力や住みやすさの PR を実施	・豊田市の住まいに関する魅力や住宅・宅地の供給情報の発信に力を入れた定期的なプロモーション活動 ・市内外のイベント出展 ・サイトによる情報発信 ・WEB 広告による情報拡散 ・PR 動画の放映 ・PR 冊子の配布	
	空き家・空き地情報バンク事業 〔地域支援課〕 空き家・空き地情報バンクに登録された山村地域等の空き家・空き地と移住希望者のマッチングを行い、移住定住を促進	・空き家・空き地情報バンクの運用 ・空き家・空き地所有者及び利用希望者への支援	
	就労支援事業〔産業労働課〕 若年者、中高年齢者、女性、定住外国人などに対する、スキルアップ支援やマッチングを実施	・就労支援セミナー、キャリアカウンセリングの実施 ・職業相談、職業紹介の実施 ・事業所と求職者との交流機会の提供	○
	働き方改革推進事業〔産業労働課〕 働き方改革への取組気運の醸成及び取組の推進を図るため、優良事業所表彰や、専門家派遣、セミナー開催等を実施	・優良事業所表彰の実施（第 10 回） ・アドバイザー講師の派遣 ・各種啓発セミナー及び事業所訪問の実施	

拡充	**ICT 活用・整備推進事業**〔学校教育課〕 ICT 機器を活用した「主体的・対話的で深い学び」を推進するための学習スタイルの構築及び ICT 環境の整備を推進	・教職員対象の研修の実施 ・タブレット端末の活用推進 ・ICT カート更新 ・校務用 PC 更新 ・ネットワーク統合 ・デジタルドリル教材の導入	
	いなか暮らしコーディネート事業 〔企画課〕 おいでん・さんそんセンターを中心に、移住希望者の「住まい」「暮らし」「生業」を総合的に支援し、山村地域への移住を促進	・いなか暮らし総合窓口の運営 ・山村地域移住プロモーションの実施	
	博物館整備事業〔文化財課〕 歴史・文化や自然など本市の持つ価値や魅力を守り、伝え、継承するための拠点である博物館を整備	・博物館の建物、外構、場内通路工事の実施。展示収蔵環境等製作の実施 ・市民と共に進める資料収集活動、市民周知活動の実施	
	名鉄三河線複線化事業 〔都市計画課〕 リニア中央新幹線開業を見据え、名古屋との移動時間短縮等、鉄道の利便性向上に向け、名鉄三河線の複線化や駅へのアクセスを強化	・鉄道駅の利便性向上及び利用促進に向けた調査	
新規	**ラリーを生かしたまちづくりの推進** 〔ラリーまちづくり推進課〕 山村振興、交通安全の推進、産業振興につなげるため、世界ラリー選手権（WRC）を開催	・2022 年 WRC 開催をいかした都市部・山村部での盛り上げ ・2023 年 WRC の誘致と開催準備 ・既存のモータースポーツイベントを生かした市内の盛り上げ ・国内外へのプロモーションの実施	

【重点施策３】まちの課題解決力の強化

施策の柱①：多様な「つながり」による豊かな暮らしの創出

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	次世代社会システム推進事業 〔未来都市推進課〕 市の課題解決に資する先進実証の支援及び早期実用化の推進	・本市における実証支援 ・実装に向けた規制緩和支援 ・AI、IoT 等の積極的活用	
拡充	**SDGs 未来都市推進事業** 〔未来都市推進課〕 SDGs 未来都市の取組事例の国内外への発信	・とよた SDGs パートナーとの連携事業及び活動支援 ・イベント・展示会、出前講座等での取組発信 ・とよた SDGs パートナー「認証」制度の構築検討 ・「SDGs 理解促進ツール」の共働制作	
	いなか暮らしコーディネート事業 〔企画課〕 おいでん・さんそんセンターを中心に、移住希望者の「住まい」「暮らし」「生業」を総合的に支援し、山村地域への移住を促進	・いなか暮らし総合窓口の運営 ・山村地域移住プロモーションの実施	○
	交流コーディネート事業〔企画課〕 おいでん・さんそんセンターにより、都市部と山村部をコーディネートするとともに、その魅力や山村部の価値を発信	・都市部と山村部の交流コーディネートの実施 ・山村部の価値・魅力 PR	
	地域学校共働本部推進事業 〔学校教育課〕 地域と学校が連携・共働し、地域全体で子どもの成長を支えていく組織の活動推進	・本部の運営支援（市内 103 校全校）	
	コミュニティ・スクール推進事業 〔学校教育課〕 中学校区の単位で小・中学校の連携及び地域ぐるみの教育を効果的に実施するコミュニティ・スクールを推進	・推進委員会の開催：4 回 ・活動の推進	

	交流館と地域学校共働本部の連携強化 〔市民活躍支援課、学校教育課〕 学校側のニーズと交流館が持つ地域資源情報を各地区で共有・情報交換し、モデル地区で連携事業を実施するなど共働事業を推進	・連携事業の推進	

施策の柱②：持続可能な地域経営

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
拡充	**市役所のデジタル化・スマート化** 〔情報戦略課〕 電子申請や AI・RPA 等を活用した窓口のスマート化を図るとともに、ノウハウ等を AI・データベース化し、行政サービスの質を向上	・スマート窓口の構築 ・AI を活用した効率的な相談支援体制の構築 ・既存システムの利活用促進	
拡充	**次世代通信網・データの活用の推進** 〔情報戦略課〕 5G 等を活用した新サービスの創出に向け、先進技術による実証実験や、オープンデータ・ビッグデータ等を効果的に活用した取組を実施	・オンライン発券、プッシュ型通知の活用に向けた実証、オープンデータ・ビッグデータの活用	
	公共施設等の総合的な管理の推進 〔企画課〕 公共施設等総合管理計画及び個別施設計画に基づいた、総合的かつ計画的な施設管理を実施	・安全・安心な施設の管理 ・トータルコストの縮減の検討 ・施設の有効活用の検討	
	事業・事務の最適化の推進 〔行政改革推進課〕 事業・事務の在り方や進め方の見直しを行い、行政サービス及び職員の働き方を最適化	・事業・事務の在り方や進め方の見直し	
新規	**気候変動対策事業**〔環境政策課〕 環境基本計画、地球温暖化防止行動計画等に基づき、カーボンニュートラルに向けた取組を推進	・カーボンニュートラル実現のための事業者支援、市民意識の啓発等の実施	

（２）基本施策

基本施策Ⅰ　子ども・子育て

（総合計画本編 P.73～）

Ⅰ-1-(1) 子どもの権利の保障

施策の柱①：子どもの権利の意識啓発

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	子どもの権利啓発事業〔次世代育成課〕 子どもの権利について理解を深める機会として、中学校で教員向け研修も含め子どもの権利の授業を実施	・中学校での実施	

施策の柱②：子どもの孤困・救済対策

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	子ども食堂支援事業 〔福祉総合相談課〕 子ども食堂の相談支援及び継続的な運営確保等について社会福祉協議会へ委託。また、運営費用のうち衛生管理上必要な経費を補助	・相談対応、運営支援、寄付等の確保 ・補助金の交付	
拡充	**子どもの学習・生活支援事業** 〔福祉総合相談課〕 経済的理由等で学習環境が整っていない子どもへ、ボランティア等による学習支援や生活習慣の改善など世帯全体の生活支援を実施	・学習、生活支援の実施（委託７か所） ・訪問型学習支援の実施（委託２か所）	
拡充	**いじめ・不登校対策事業** 〔学校教育課〕 いじめの防止や対応、不登校児童生徒の自立支援などに関する各種対策事業を実施	・児童生徒、教職員対象の研修の充実 ・各種相談対応 ・「パルクはあとラウンジ」における支援の充実	

施策の柱③：児童虐待防止及び対応策の強化

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	児童虐待防止教育推進事業 〔子ども家庭課〕 幼児、児童、生徒及びその保護者、教職員を対象に、CAP（子どもへの暴力防止）プログラムによる児童虐待防止教育を実施	・虐待防止教育ワークショップの実施	

Ⅰ-1-(2) 安心して子どもを生み育てられる環境の充実

施策の柱①：相談体制・支援サービスの充実

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	とよた急病・子育てコール 24 運営事業 〔子ども家庭課〕 24 時間 365 日いつでも救急医療相談と子育て相談ができるコールセンターを運用	・24 時間 365 日の電話相談対応	
	多胎パパママ教室〔子ども家庭課〕 多胎を妊娠した妊婦が出産後の生活をイメージし、前向きな気持ちで子育てしてもらうための教室を実施	・多胎パパママ教室の実施	

施策の柱②：若年層に対する妊娠・出産と向き合う機会の充実

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	思春期教室事業〔子ども家庭課〕 中学生等を対象に、性や命の尊さ、妊娠・出産等に関する性教育を実施	・性教育の実施	

Ⅰ-1-(3) 安心して子どもを預けられる環境の整備

施策の柱①：保育需要への対応と良好な幼児教育・保育環境の確保

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
拡充	**公立こども園の ICT 活用事業**〔保育課〕 公立こども園に ICT を導入し、保護者や保育士の負担を軽減することで、多様な保育ニーズに対応できる環境を整備	・システム運用 ・キャッシュレス決済運用 ・導入機能及び運用方法検討	
	人材確保に向けた大学連携事業〔保育課〕 保育士等を養成する大学等と連携し、保育士を志望する学生の増加に向けた取組を実施	・人材確保に向けた大学等との連携事業の実施 ・新規連携事業の検討	
	公立こども園トイレ再整備事業〔保育課〕 老朽化したトイレの改修及び便器洋式化を実施することで、快適かつ衛生的なトイレ環境を整備	・駒場・ひかり・石畳・越戸・野見の洋式化工事 ・稲武・豊松・渡刈・東山・平山の洋式化設計	

施策の柱②：放課後の児童の居場所確保

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	放課後児童クラブ事業 〔次世代育成課〕 放課後等において、原則小学校１年生～４年生を対象に適切な「遊び」や「生活」の場を提供し、児童の健全な育成を支援	・放課後児童クラブの運営：71 校 ・5 月 1 日時点参加児童数：約 4,200 人	
拡充	**地域子どもの居場所づくり事業** 〔次世代育成課〕 子どもたちが自主的に活動する場、地域の子ども同士や大人が交流する機会を提供し、地域全体で子どもの育成を支援	・活動の場の提供及び拡大	

基本施策Ⅱ　生涯学習

（総合計画本編 P.85～）

Ⅱ-1-(1) 生き抜く力を育む学校教育の推進

施策の柱①：学びのつながりや地域とのつながりを重視した教育の推進

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	地域学校共働本部推進事業〔学校教育課〕 地域と学校が連携・共働し、地域全体で子どもの成長を支えていく組織の活動推進	・本部の運営支援（市内 103 校全校）	○
	コミュニティ・スクール推進事業〔学校教育課〕 中学校区の単位で小・中学校の連携及び地域ぐるみの教育を効果的に実施するコミュニティ・スクールを推進	・推進委員会の開催：４回 ・活動の推進	○

施策の柱②：確かな学力を育む教育の推進

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	きめ細かな教育推進事業〔学校教育課〕 豊田市独自の少人数学級と非常勤講師・補助員等の配置により、きめ細かな教育を推進	・少人数学級の実施（小１、小２、中２、中３） ・サポートティーチャーの配置（小１,小２、小５、小６） ・非常勤養護教諭の配置	
拡充	**ICT 活用・整備推進事業**〔学校教育課〕 ICT 機器を活用した「主体的・対話的で深い学び」を推進するための学習スタイルの構築及び ICT 環境の整備を推進	・教職員対象の研修の実施 ・タブレット端末の活用推進 ・ICT カート更新 ・校務用 PC 更新 ・ネットワーク統合 ・デジタルドリル教材の導入	○

施策の柱③：豊かな人間性を育む教育の推進

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
拡充	**いじめ・不登校対策事業**〔学校教育課〕 いじめの防止や対応、不登校児童生徒の自立支援などに関する各種対策事業を実施	・児童生徒、教職員対象の研修の充実 ・各種相談対応 ・「パルクはあとラウンジ」における支援の充実	○
拡充	**特別支援教育の推進事業**〔学校教育課〕 身近な地域での特別支援教育に関する諸問題を解決するために、ブロックサポート体制を確立	・教職員対象研修実施 ・各種相談対応 ・医療的ケア支援の充実	
	外国人児童生徒等教育事業〔学校教育課〕 外国人児童生徒等の小・中学校への適応を進めるため、日本語指導や学習相談、支援等を実施	・外国人児童生徒等サポートセンターでの翻訳・通訳支援、教員への学習相談支援 ・学校日本語指導員による学習、学校生活支援	

施策の柱④：たくましく生きるための健康・体力を育む教育の推進

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	子どもの体力向上推進事業〔学校教育課〕 児童生徒の体力向上及び運動好きな児童生徒を育てるために、各校の現状に合わせた「体力向上１校１実践」の取組を実施	・「体力向上１校１実践」の全校実施 ・体力アップトレーニングメニューの追加及び活用 ・学習用タブレットの活用の推進	

Ⅱ-1-(2) 安全・安心で快適に学べる教育環境の充実

施策の柱①：学校施策の環境の充実と整備の推進

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	学校施設保全改修事業 〔学校づくり推進課〕 安全・安心で快適な教育環境を確保するため、老朽化が進む学校施設の保全改修を実施	・工事：8 校	
	学校施設長寿命化改修事業 〔学校づくり推進課〕 建物の目標使用年数を 80 年とし、学校施設の効果的な改修を計画的に行い、長寿命化による施設管理を実施	－	
	学校トイレ再整備事業 〔学校づくり推進課〕 快適な教育環境を確保するため、トイレの洋式化を実施	・設計：84 か所（20 校） ・工事：70 か所（20 校）	
	校舎増築事業（中山小学校、朝日丘中学校ほか）〔学校づくり推進課〕 宅地開発等により児童生徒数が増加する学校に対して、教室不足が生じないよう計画的に教室を整備	・実施設計（中山小学校）	

施策の柱②：給食調理環境の整備

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	給食センター建替事業〔保健給食課〕 老朽化した給食センターの移転新築整備の検討を実施	・給食センターの更新に関する基本計画及び老朽化した給食センターの更新の合意に向けた庁内調整の実施	

Ⅱ-1-(3) 地域による次世代人材の育成の促進

施策の柱①：小・中学生が主体的に活動できる機会の充実

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
－	**－**〔－〕 －	－	

施策の柱②：高校生・大学生の社会参加活動の促進

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
－	**－**〔－〕 －	－	

施策の柱③：自立に困難を抱える若者の支援

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	若者サポートステーション事業 〔次世代育成課〕 自立に困難を抱える若者が就労や社会参加などを行うため、関係機関との連携による包括的な体制で自立に向けた支援を実施	・若者サポートステーションの運営 ・若者支援地域協議会の開催（代表者会議１回、実務者会議１回）	

Ⅱ-1-(4) まちへの誇りや愛着につながるものづくり学習の推進

施策の柱①：ものづくりや科学に興味・関心を高める機会の充実

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	とよたものづくりフェスタ事業 〔ものづくりサポートセンター〕 子どもたちが様々なものづくりを体験・体感できるイベントを、ものづくり団体、大学、高校、中学校等と連携して開催	・TES フェスティバル（トヨタ技術会主催）と合同開催	
	ものづくり教育プログラム事業 〔ものづくりサポートセンター〕 小学生を対象に、学校カリキュラムの中で関連付けたものづくり体験を、ものづくりサポーターの支援により実施	・プログラムの実施：55 校	

施策の柱②：高度なものづくりや科学を学ぶ機会の充実

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	クルマづくり究めるプロジェクト事業 〔ものづくりサポートセンター〕 子どもたちが、プロからクルマづくりを学び、挑戦する活動を自動車関連企業と連携して実施	・活動の実施： 5 月、6 月：3 コース 9 月～3 月：2 コース　　各 30 回	
	匠の技・職人の技に学ぶものづくりプロジェクト事業 〔ものづくりサポートセンター〕 和紙、鍛冶屋、竹細工といった伝統的な匠のものづくりや食品サンプルなどの現代の名工から学ぶ講座を実施	・講座の開催： 3 回	
	科学技術教育推進事業 〔ものづくりサポートセンター〕 主に中学生・高校生を対象とし、企業、大学、関係団体等と連携したハイレベルのものづくり・科学講座等の開催や生徒の活躍を支援	・講座、イベント等（企業との連携事業）の開催：7 回	

Ⅱ-1-(5) 高齢者が活躍できる環境の充実

施策の柱①：高齢者の社会や地域での活躍支援

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	高齢者の活躍支援事業 〔とよた市民活動センター〕 高齢者の市民活動や生きがいづくりを促進するための学び、相談、情報提供等の支援を実施	・シニアアカデミー（通年コース 3 学科、専門コース、はじめの一歩講座）の実施 ・卒業生の組織化支援及び活動把握・活動支援・活動 PR ・窓口相談、相談会開催、情報発信	○

施策の柱②：高齢者への多様な就業機会の提供

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	シルバー人材センター就業創出事業 〔市民活躍支援課〕 社会環境の変化や多様化する高齢者の就労ニーズに対応するため、労働者派遣や生活支援サービスなどの就業機会を創出	・就業機会の拡大 ・コーディネート機能の強化 ・企業等の退職者説明会での PR	○
	就労支援事業〔産業労働課〕 若年者、中高年齢者、女性、定住外国人などに対する、スキルアップ支援やマッチングを実施	・就労支援セミナー、キャリアカウンセリングの実施 ・職業相談、職業紹介の実施 ・事業所と求職者との交流機会の提供	○

Ⅱ-1-(6) 女性が活躍できる環境の充実

施策の柱①：ワーク・ライフ・バランスの推進

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	働き方改革推進事業〔産業労働課〕 働き方改革への取組気運の醸成及び取組の推進を図るため、優良事業所表彰や、専門家派遣、セミナー開催等を実施	・優良事業所表彰の実施（第 10 回） ・アドバイザー講師の派遣 ・各種啓発セミナー及び事業所訪問の実施	○

施策の柱②：女性の就労・活動意識確立の支援強化

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	女性のライフプラン・キャリア形成支援事業〔とよた男女共同参画センター〕 結婚や出産を機に活動していない女性の就労意欲や市民活動への参画意識を醸成するための相談・セミナー・交流会を開催	・相談・セミナー・交流会の開催	

施策の柱③：若者の男女共同参画への理解促進に向けた取組の強化

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	子ども若者啓発事業〔とよた男女共同参画センター〕 若者の固定的性別役割分担意識によらないキャリアプラン形成を支援	・教育機関と連携した取組の実施	

Ⅱ-2-(1) スポーツ資源を生かした活力ある社会の実現

施策の柱①：スポーツを「する」機会の拡充

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
拡充	**地域スポーツ支援事業** 〔スポーツ振興課〕 地域スポーツクラブやスポーツ推進委員の活動を様々な点から支援することで、身近な地域でのスポーツ機会を創出	・地域スポーツクラブやスポーツ推進委員との連携事業や活動支援	○
完了	**（仮称）松平地域体育館等整備事業** 〔スポーツ振興課〕 スポーツの振興や健康増進を図るため、市民が気軽に利用できる体育館及び多目的広場を整備	・2021 年度完了	

施策の柱②：スポーツを「楽しむ」風土の醸成

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
拡充	**トップアスリート・スポーツチーム応援事業**〔スポーツ振興課〕 市民のスポーツへの関心を増大させ、市への愛着や誇りを高めるため、本市ゆかりのトップスポーツチームやアスリートを応援	・地元のトップスポーツチームや本市ゆかりのトップアスリートの応援事業の実施	
	J リーグホームタウン推進事業 〔スポーツ振興課〕 2021 シーズンから 20 試合程度に増加する見込みの、豊田スタジアムでの名古屋グランパスのホーム公式戦開催に合わせ、来場者を取り込んだ取組や応援気運を盛り上げる自主的な取組に関する支援・調整を実施	・ホーム公式戦の開催及び連携事業の実施調整	

	豊田スタジアム長寿命化修繕事業 〔建築計画調整課〕 大規模スポーツイベントの観戦等を楽しむ環境を継続的に提供し、集客力の維持・向上を図るために、施設の長寿命化修繕を実施	・開閉式屋根の機能の見直し、外壁・屋根鉄骨部の塗装、空調設備、プール、防災設備等改修	

施策の柱③：スポーツを「支える」体制強化と人材の育成・活用

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	企業・大学と連携したスポーツ支援体制の構築〔スポーツ振興課〕 企業・大学と連携したスポーツ教室等を継続して開催しながら、企業・大学の優れた指導者や環境を活用できる仕組みを構築	・企業・大学と連携したスポーツ教室等の開催 ・仕組みの構築と、仕組みを活用した事業への段階的な転換	
	スポーツボランティアの活動促進事業 〔スポーツ振興課〕 スポーツボランティアとよたの事務局を立ち上げ、ボランティアによるおもてなし事業を実施	・スポーツボランティアとよたの事務局運営委託 ・おもてなし事業の支援 ・自立化に向けたスポーツボランティアとよた事務局の収益構造の整理	

Ⅱ-3-(1) 歴史や文化財の継承と魅力の発信

施策の柱①：歴史・文化財の継承・魅力発信のための基盤・機会の拡充

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	郷土学習推進事業〔文化財課〕 市民や団体、地域と共働により、郷土の歴史・文化財を子どもたちに継承する取組を学校と連携して実施	・とよた歴史マイスター等の活動支援 ・郷土学習スクールサポートの実施 ・博学連携協議会による新制度検討（手引き作成）	

	博物館整備事業〔文化財課〕 歴史・文化や自然など本市の持つ価値や魅力を守り、伝え、継承するための拠点である博物館を整備	・博物館の建物、外構、場内通路工事の実施。展示収蔵環境等製作の実施 ・市民と共に進める資料収集活動、市民周知活動の実施	○
	地域資料館再編事業〔文化財課〕 地域の歴史等を紹介し、学習や交流の場である地域資料館の機能拡充と博物館との連携強化により、施設の再編を実施	・足助地区において旧田口家住宅を使用し試行的に展示行い、アンケートや利用者数による効果検証を実施	

施策の柱②：市民力・地域力を生かした歴史・文化財の継承の促進

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	郷土学習推進事業〔文化財課〕 市民や団体、地域と共働により、郷土の歴史・文化財を子どもたちに継承する取組を学校と連携して実施	・とよた歴史マイスター等の活動支援 ・郷土学習スクールサポートの実施 ・博学連携協議会による新制度検討（手引き作成）	○

施策の柱③：歴史的な町並みや史跡等を生かしたまちづくり

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	足助歴史的町並み保存整備事業〔文化財課〕 歴史的町並みを保存するため、建造物の修理・修景、防災設備の整備や、国の重要文化財旧鈴木家住宅の修理・復原を実施	・伝建地区内の建造物の修理修景補助事業の実施 ・旧鈴木家住宅の保存修理工事、防災対策工事、活用整備工事の実施	

Ⅱ-3-(2) 文化芸術を生かしたまちの魅力づくりの推進

施策の柱①：文化芸術に触れる機会の充実

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
－	**－**〔－〕 －	－	

施策の柱②：文化芸術活動を担う人材の育成

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	市民によるアートプロジェクト推進事業〔文化振興課〕 市民主体の文化芸術活動・発表の場を創出し、文化芸術に関わる人材の発掘・育成を促進	・文化イベント開催 ・文化芸術情報の集約・発信 ・デカス募集	

施策の柱③：文化施設の機能・価値の向上

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	文化ゾーン基盤整備事業〔文化振興課〕 文化ゾーン基本構想を推進するため、文化芸術の発信拠点として必要な機能を整備	・博物館進入路整備	
	市民文化会館大規模改修事業〔文化振興課〕 市民文化会館の安心安全な施設供用を維持するため、適切な修繕を行うとともに文化創造拠点としての機能を整備	・市民文化会館 2 階改修工事	
	中央図書館大規模改修事業〔図書館管理課〕 いつまでも安心して快適に利用できるよう、利用開始から 20 年以上経過した中央図書館の改修を実施	・長寿命化改修設計	

基本施策Ⅲ　健康・福祉

（総合計画本編 P.117～）

Ⅲ-1-(1) 誰もが健康づくりを継続できる環境の充実

施策の柱①：健康に関心を持つ機会の充実

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
－	**－**〔－〕 －	－	

施策の柱②：健康づくりを継続できる環境の充実

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	きらきらウエルネス地域推進事業〔地域保健課〕 地域の健康関連データを中学校区ごとにまとめた地域健康カルテを基に、地域特性に応じた健康づくりを住民との共働により推進	・意見交換会等の実施、地域健康づくり事業計画の作成	○
	元気アップ事業〔地域保健課〕 高齢者の体力づくりや認知症予防を目的とした教室を実施し、介護予防活動が自主的に継続できるように支援	・元気アップ教室の実施と自主グループの支援	

施策の柱③：若いときからの望ましい食習慣の定着推進

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	若者向け食育推進事業〔（保）総務課〕 望ましい食習慣を身に付けられるように、高校生や大学生を始めとする若者を対象に、様々な手段・機会を活用した食育啓発を実施	・親子食育講座の開催 ・大学祭での啓発 ・高校生向け食育講座の開催 ・小中学生向け食育講座の開催	

Ⅲ-1-(2) 健康危機への対応力の強化

施策の柱①：健康危機の発生予防対策の推進

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
－	－〔－〕 －	－	

施策の柱②：健康危機の拡大防止対策の推進

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
－	－〔－〕 －	－	

Ⅲ-2-(1) 必要なときに受診できる医療提供体制の確保

施策の柱①：救急医療体制の維持

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	救急医療提供体制確保事業 〔地域包括ケア企画課〕 市民がいつでも症状に応じた適切な診療が受けられるように、救急対応医療機関への補助金交付及び休日救急診療所の運営を実施	・補助金の交付 ・休日救急診療所の運営	

施策の柱②：在宅医療を推進するための環境整備

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	在宅医療・福祉連携推進事業 〔地域包括ケア企画課〕 本人の望む療養生活を全うできるよう、在宅医療と福祉の連携強化により在宅療養サービスを充実	・在宅医療・福祉連携推進計画の推進 ・ICT 技術の導入支援 ・訪問看護師育成センターの運営 ・総合療法士育成センターの運営	○
	豊田地域医療センター再整備事業 〔地域包括ケア企画課〕 高齢者の増加に伴う疾病構造の変化に合わせた増床と、建物の老朽化に対応し、市民の健康保持及び医療提供体制を充実	・外構、駐車場整備工事	○

施策の柱③：適切な受診行動がとれる市民意識の醸成

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	とよた急病・子育てコール 24 運営事業 〔子ども家庭課〕 24 時間 365 日いつでも救急医療相談と子育て相談ができるコールセンターを運用	・24 時間 365 日の電話相談対応	○

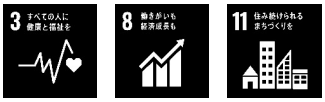
Ⅲ-3-(1) 高齢者が安心して生活できる支援体制の充実

施策の柱①：住み慣れた地域で暮らすための支援体制の強化

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
拡充	**地域包括支援センターの機能強化** 〔高齢福祉課〕 職員の人材育成を目的として、研修計画に沿った研修の実施、ブロック協力事業の実施、人材育成等計画を推進	・研修実施 ・ブロック協力事業の継続 ・人材育成等計画の継続	

	総合的な認知症施策推進事業（支援チーム）〔高齢福祉課〕 認知症の人等の支援ニーズと、認知症サポーターを中心とした支援をつなぐ仕組みを構築し、支援チームとして共生の地域づくりを推進	・認知症サポーター養成講座等の実施及び活動支援に要する基盤整備（あいち電子申請・届出システムの活用を含む） ・支援チームの協力者への協力依頼とモデルチームへの支援	○
	総合的な認知症施策推進事業（早期発見と社会参加）〔高齢福祉課〕 認知症の早期発見・対応と、認知症の人がそれぞれの個性に合わせたボランティアや就労などの場へ社会参加ができる仕組みの構築	・社会参加取組事例の拡充と企業・介護サービス事業所等と協働による基盤整備 ・認知症の人の本人発信支援（ピアサポート活動、ニーズ把握、早期発見） ・あいち電子申請・届出システムの活用検討	○

施策の柱②：介護に関わる人材への支援



方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
拡充	**介護人材支援事業**〔介護保険課〕 市民への理解促進、就職機会の支援、介護サービス関係者への研修、外国人受入れ支援、介護サービス事業所の運営改善の支援	・市民への出前講座 ・就職相談会 ・現任介護職員研修 ・外国人材への日本語学習等支援 ・外国人受入れ支援 ・キャリアアップ支援 ・介護職場環境向上支援 ・人材研修費等支援	○

施策の柱③：介護環境の充実

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	介護施設整備事業〔介護保険課〕 市民ニーズ、待機者、有料老人ホームの動向を加味し、必要な整備の実施	・認知症グループホームや看護小規模多機能型居宅介護などの施設整備を支援	○

Ⅲ-3-(2) 障がい者が地域社会で共生できる環境の整備

施策の柱①：理解・啓発活動の推進

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
新規	**障がい理解と意思疎通の推進事業**〔障がい福祉課〕 地域共生社会の実現に向け、障がい理解の促進や多様な意思疎通手段の利用を推進するための取組を実施	・障がい理解の促進 ・意思疎通の円滑化に関する取組	

施策の柱②：日中活動場所の充実

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	重度障がい者支援事業〔障がい福祉課〕 重度障がい者の日中活動場所の確保や介護者負担の軽減に向け、支援者育成と受入れ先確保、医療と連携したレスパイト事業等を実施	・強度行動障がいの支援者研修等の開催 ・家族介護者負担軽減事業	
	障がい者日中活動場所確保事業〔障がい福祉課〕 障がい者が日中に活動する場を確保するため、日中活動場所の整備に対する補助金を交付	・障がい者支援施設の建設費の補助	

施策の柱③：地域での居住の場の充実

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	重度障がい者支援事業〔障がい福祉課〕 重度障がい者の日中活動場所の確保や介護者負担の軽減に向け、支援者育成と受入れ先確保、医療と連携したレスパイト事業等を実施	・強度行動障がいの支援者研修等の開催 ・家族介護者負担軽減事業	○

	障がい者グループホーム整備支援事業 〔障がい福祉課〕 障がい者の居住の場を充実するため、グループホームの整備に対する補助金を交付	・グループホームの建設費の補助	

Ⅲ-3-(3) 生活困窮者が適切な支援を受けられる体制の確保

施策の柱①：生活困窮者への相談支援の充実

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	生活困窮者自立支援事業 〔福祉総合相談課〕 様々な要因によって経済的に困窮している、又はそのおそれのある者に対して、自立のための様々な支援を早期的、包括的に実施	・生活困窮者自立支援事業等の実施	

施策の柱②：子どもへの学習環境の提供

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
拡充	**子どもの学習・生活支援事業** 〔福祉総合相談課〕 経済的理由等で学習環境が整っていない子どもへ、ボランティア等による学習支援や生活習慣の改善など世帯全体の生活支援を実施	・学習、生活支援の実施（委託７か所） ・訪問型学習支援の実施（委託２か所）	○

基本施策Ⅳ　安全・安心

（総合計画本編 P.139～）

Ⅳ-1-(1) 自助・共助・公助による災害対策の充実

施策の柱①：市民による災害対策の促進

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	自助意識普及啓発事業〔防災対策課〕 市民の防災意識高揚と自助の取組推進のための啓発事業を実施	・マイ・タイムライン作成支援 ・防災キャンプの実施支援	
	住宅耐震化促進事業〔建築相談課〕 市民の生命・財産を守るため、地震時の倒壊等を防ぐ住宅の耐震化を促進	・住宅、建築物の耐震診断 ・改修、解体及びブロック塀の撤去等に対する補助	

施策の柱②：地域による災害対策の促進

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	自主防災活動支援事業〔防災対策課〕 自主防災リーダーの育成や自主防災訓練の支援、補助金交付など、自主防災組織の活動を支援	・自主防災リーダー養成講座の開催：1 回 ・自主防災組織の活動支援 ・自主防災会連絡協議会の運営 ・気象防災アドバイザーの活用	

施策の柱③：事業者による災害対策の促進

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	事業者災害時行動マニュアル等作成促進事業〔防災対策課〕 大学等と連携した研修会の実施など、災害時に事業者が迅速に復旧・復興するための行動マニュアル（BCP 含む）の作成を支援	・行動マニュアル（BCP 含む）の作成支援講習会（入門編・中級編・フォローアップ)の開催 11 回	

施策の柱④：市の災害対策本部体制の強化

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	受援体制構築事業〔防災対策課〕 受援対象業務管理データベース運用や事業者等と連携した訓練の実施	・受援対象業務管理データベース運用 ・事業者等と連携した訓練の実施（1 回/年) ・受援調整班の訓練の実施（１回/年） ・受援調整班マニュアルの改訂	
	災害用便槽整備事業〔防災対策課〕 災害時の避難生活における避難者の健康と、避難所の衛生環境の確保	・設置工事：2 か所 ・設計か所：1 か所	
完了	**避難所停電対策事業**〔防災対策課〕 災害による停電時においても電源を確保し、安定的な避難所運営に必要な環境を確保	・2021 年度完了	
完了	**避難所設備整備事業**〔防災対策課〕 指定避難所へ防災倉庫を整備するとともに、備蓄品等を適切に保管し、安定的な避難所運営を確保	・2021 年度完了	
	水防施設整備事業〔（消）総務課〕 河川などの洪水及び土砂災害による水災を警戒、防御し、これによる被害を軽減するため、水防倉庫を整備	・西水防倉庫の整備完了	

Ⅳ-1-(2) 防災・減災につながる都市機能の強化

施策の柱①：災害に強い道路環境の確保

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	橋りょう耐震対策事業〔道路予防保全課〕 重要市道橋及び緊急輸送道路等を跨ぐ重要法定外道路橋の耐震対策を実施	・工事：3 橋	

	道路のり面防災対策事業 〔道路維持課、地域建設課〕 安全確保のため、道路のり面の崩壊・落石等の道路災害の危険箇所を点検等により把握し、道路防災対策工事を実施	・防災対策工事	

施策の柱②：災害の軽減に向けた治水安全度の向上

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	準用河川長田川河川改修事業〔河川課〕 浸水被害の軽減を図るため、河川改修を実施	・基本設計 ・工事	
	準用河川大見川河川改修事業〔河川課〕 浸水被害の軽減を図るため、河川改修を実施	・調査設計 ・工事	
	境川・猿渡川流域総合雨水対策事業 〔河川課〕 境川・猿渡川流域において浸水被害の軽減を図るため、貯留施設整備を実施	・基本設計（丸根池） ・工事（米田池・ゆたか台団地）	

施策の柱③：災害に備えた上下水道施設整備の推進

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	重要給水施設管路耐震化事業 〔水道整備課〕 新水道耐震化プランに基づく、重要給水施設管路（医療機関）の耐震化を実施	・基幹管路耐震化工事（さくら病院、豊田共立クリニック）	
	基幹施設耐震化事業〔上水運用センター〕 新水道耐震化プランに基づく、基幹施設の耐震化を実施	・基幹施設耐震化工事（西中山送配水場、東山配水場） ・基幹施設耐震診断・耐震化設計（日下部浄水場始め 3 施設）	
	公共下水道雨水施設耐震化事業 〔下水道建設課〕 公共下水道雨水施設の耐震補強を推進	・雨水幹線耐震補強工事：中部 3 号ほか（375m）	

	応急給水施設整備事業 〔（上下水）企画課、上水運用センター〕 災害拠点給水施設（配水池に設置する応急給水施設）の改修を実施	・工事（水別配水場新設、旭高原第１ポンプ場新設、飲料用循環式耐震性貯水槽新設（稲武）） ・設計（御内配水場、黒坂浄水場、大草配水場）	

Ⅳ-2-(1) 自助・共助・公助による消防対応力の強化

施策の柱①：火災予防の推進

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	高校生防火防災リーダー養成事業 〔予防課〕 市内の高校生の中から防火防災啓発の中心となるリーダーを養成し、活動を支援することで、防火防災に対する意識を効果的に向上	・市内高等学校での啓発活動を実施 ・リーダー養成カリキュラムの実施	
	高齢者の住宅防火促進事業〔予防課〕 各種の福祉関係者と連携し、高齢者宅の訪問時等に火災予防について啓発してもらうことで高齢者の火災による被害を軽減	・福祉関係団体に対する防火講習会の開催 ・関係部局等と連携した火災予防啓発の実施 ・高齢者に対する防火セミナー等の開催	

施策の柱②：消防団の充実強化

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	機能別団員加入促進事業〔（消）総務課〕 消防団の経験者と新たな担い手である大学生などの加入を促進し、慢性化する消防団員不足に対応	・説明会など募集活動の実施： 大学生 5 回 消防団経験者 1 回	

拡充	**消防団装備の充実事業**〔（消）総務課〕 国の装備基準に基づき、優先度等を踏まえて効率的に消防団装備を配備	・防火衣　129 着 ・防寒服　900 着 ・【救助資機材】折りたたみ担架　44 機	

施策の柱③：消防体制の充実

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
完了	**動画による 119 番通報システム構築事業**〔指令課〕 スマートフォンによる 119 番通報で、通報者が撮影した災害現場の動画をリアルタイムに指令室で確認することができるシステムを構築	・2021 年度完了	
	消防水利施設整備事業〔警防救急課〕 災害時に不足が懸念される消火用水を確保するため、地域の実情に応じて耐震性貯水槽を整備	・耐震性貯水槽の整備：4 基 ・消火栓の整備 ・防火水槽の地震対策・長寿命化修繕：8 基	
	消防車両整備事業〔警防救急課〕 災害時に不足が懸念される消火用水を確保するため、地域の実情に応じて水槽付消防車両等を整備	・化学消防ポンプ自動車：1 台 ・消防ポンプ自動車：2 台 ・高規格救急自動車：7 台 ・資機材搬送車：1 台 ・リモートコントロール式の消火・排煙車：1 台	

施策の柱④：救急体制の充実

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	救急救命士の養成・活躍推進事業〔警防救急課〕 超高齢社会の進展や、社会環境の変化に対応できる救急体制を構築するため、救急救命士の養成及び活躍を推進	・救急救命士の養成：6 人 ・隔日勤務が困難な救急救命士の活用	
	小中学生に対する応急手当普及促進事業〔（中）管理課〕 次代を担う小中学生等に応急手当の受講機会を拡大し、少年期から応急手当に慣れ親しむ環境づくりを推進	・小・中学校・特別支援学校での応急手当講習会の開催	

Ⅳ-3-(1) 地域ぐるみの防犯体制の強化

施策の柱①：市民への防犯啓発

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	子どもの防犯教室〔交通安全防犯課〕 子どもの防犯力向上のため、小学生を対象に子どもの防犯教室を開催	・子どもの防犯教室：35 校	

施策の柱②：地域の防犯力の向上

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	犯罪のないまちづくり活動支援 〔交通安全防犯課〕 構成員全体のスキルアップを狙った講座や研修会の実施、自主防犯活動団体の活動を支援	・地域防犯ボランティア・ステップアップ講座開催：3 回	

施策の柱③：犯罪の起きにくい環境づくり

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	防犯設備整備費補助制度 〔交通安全防犯課〕 自治区等への防犯カメラの設置費用の補助により、犯罪多発地区を始めとした地域の防犯力を向上	・防犯カメラの設置及び更新に対する補助	

Ⅳ-4-(1) 交通安全意識の向上と安全な道路交通環境の実現

施策の柱①：交通安全啓発の充実

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	高齢者交通安全防犯世帯訪問事業 〔交通安全防犯課〕 高齢者のいる世帯を訪問し、反射材の配布や交通安全に関する知識を啓発	・75 歳以上の高齢者が住む世帯への訪問：9,000 世帯	
	自転車安全利用講習事業 〔交通安全防犯課〕 講義・実技を交えた自転車の安全利用に関する講習を実施	・講習の実施 ①子ども　②一般　③親子	
	自転車乗車用ヘルメット購入支援事業 〔交通安全防犯課〕 自転車乗車用ヘルメットの購入費補助を行い、自転車利用者が当事者となる事故における受傷を防止	・全年齢を対象とした補助の実施	

施策の柱②：交通安全環境の整備

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	ゾーン 30 整備事業〔交通安全防犯課〕 速度と通過交通の抑制を図る交通安全対策として、幹線道路に囲まれたエリア内の生活道路すべてに時速 30ｋｍ規制を設定	・ゾーン 30 の導入に向けた整備（予定地区：猿投台・井郷）	
	交通安全施設整備事業〔交通安全防犯課〕 交通事故抑止を図るため、地域等からの要望に基づき、交通危険箇所に交通安全施設を整備	・カーブミラー等の整備	

	自転車通行空間整備事業 〔建設企画課、土木課〕 歩行者の安全確保、自転車の交通事故削減を図るため、車道に路面表示等で自転車の通行位置を明示する整備を実施	・整備工事 ・効果検証	
	交通事故多発地点対策事業 〔建設企画課、土木課〕 交通事故データやビッグデータ等の活用により交通事故多発地点や危険箇所を特定し、多発する事故類型に応じた交通事故対策を実施	・対策実施 ・設計 ・効果検証	
	歩行者通行空間整備事業〔土木課〕 安全で安心な児童・生徒の通学路を確保するため、歩行空間の整備を推進	・調査設計 ・用地取得 ・工事	
	生活道路整備事業〔土木課、地域建設課〕 地域の交通課題の解消と住環境の安全性向上を図るため、生活道路の整備を推進	・調査設計 ・用地取得 ・工事	

基本施策Ⅴ　産業・観光・交流

（総合計画本編 P.161～）

Ⅴ-1-(1) 地域特性に応じた産業型農業の推進

施策の柱①：大規模で高効率な平坦部農業の推進

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
－	**－**〔－〕 －	－	

施策の柱②：高付加価値を生む都市近郊型農業の推進

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	ブランド農産物担い手育成事業 〔農業振興課〕 里親農家と JA と市との共働事業である桃・梨専門コースの運営	・研修生確保のための PR ・研修生向けの農地及び農業機械の確保 ・桃栽培サポーターの養成・運用	
	農商工連携・６次産業化推進事業 〔農政企画課〕 農商工連携や６次産業化に関するセミナーや研修会、異業種交流会などを実施するほか、連携イベント等を開催	・研修会・交流会・連携イベントの開催 ・異業種交流会の開催 ・特産品開発等のアドバイザーの派遣	

施策の柱③：地域を守る山村部農業の推進

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	鳥獣害対策事業〔農業振興課〕 鳥獣害対策を行う農家や集落の支援及び有害鳥獣駆除の実施。また、人材育成や効果的・効率的な対策を研究	・侵入防止柵への補助 ・有害鳥獣の捕獲 ・環境整備への補助 ・効果的な対策の研究	

Ⅴ-1-(2) 地域が支える”食と農”の推進

施策の柱①：地産地食の推進

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	地産・地食の理解・環境づくり推進事業〔農政企画課〕 豊田市及び豊田市農産物ブランド化推進協議会により、地産地食推進活動を行うとともに、「とよたの農」に関する情報を発信	・地産地食推進イベントの実施及び開催支援 ・SNS 等による情報発信	

施策の柱②：「農ある暮らし」の推進

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	農とのふれあい推進事業〔農業振興課、農政企画課〕 農ライフ創生センターにおける家庭菜園向け初級農作物栽培技術研修及び市民農園等の運営支援等を実施	・初級農作物栽培技術研修の開講 ・市民農園の運営支援	

Ⅴ-2-(1) 100 年先を見据えた安全・安心の森づくりの推進

施策の柱①：健全な人工林づくりの推進

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	間伐事業〔森林課〕 過密人工林を一掃するため、人工林の間伐推進を図り健全林に誘導	・市内人工林（公有林等を除く）の間伐 1,200ha	
	集約化事業〔森林課〕 過密人工林の間伐推進のため、事業地の取りまとめを効率的に実施	・市内人工林の団地化（1200ha)	

	モニタリング事業〔森林課〕 間伐前後による水源かん養機能や植生回復についてのモニタリングを実施	・水源涵養機能、間伐モニタリング調査の実施	

施策の柱②：森の応援団の養成と共働の森づくりの推進

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	森林普及事業〔森林課〕 市民の森づくりに対する理解促進のため、森林と関わりの薄い市民等に合わせた講座を開催	・市民向け講座及び出前講座等森林普及事業の実施	

施策の柱③：森林整備に従事する担い手の確保

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	森づくり人材育成事業〔森林課〕 林業労働力を確保し森林整備を継続的に実施するため、団地化推進員及び新規林業就業者等の雇用並びに育成の支援を実施	・森づくり団地化推進員の雇用への補助 ・緑の研修生及び新規採用職員の育成への補助	

Ⅴ-2-(2) 地域材の生産・流通・利用の推進

施策の柱①：地域材の加工流通体制の構築と需要喚起

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	新作業システム導入支援事業〔森林課〕 森林の環境と経済価値を守り高める施業実現のため、架線系システムの導入支援等を実施	・架線系システムの運用方法の検討	

	地域材利用促進事業〔森林課〕 林業・木材産業の活性化に向け、一般社団法人ウッディーラー豊田等との連携を図り、地域材の認知度向上や商品開発等を実施	・木製品の開発及び木材利用の促進 ・地域材活用の情報発信	

Ⅴ-3-(1) 地域産業の持続的発展に向けた企業力の強化

施策の柱①：地域産業の振興

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
拡充	**企業立地奨励事業**〔産業労働課〕 市内において新たに事業所を設置する企業及び事業規模を拡大する企業の投資に対し、奨励金を交付	・旧条例、新条例及び新要綱に基づく奨励制度の運用 ・カーボンニュートラル創エネ促進補助金の交付 ・企業訪問等による制度 PR	○

施策の柱②：投資の受皿となる産業用地の創出

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
拡充	**企業立地奨励事業**〔産業労働課〕 市内において新たに事業所を設置する企業及び事業規模を拡大する企業の投資に対し、奨励金を交付	・旧条例、新条例及び新要綱に基づく奨励制度の運用 ・カーボンニュートラル創エネ促進補助金の交付 ・企業訪問等による制度 PR	○
	産業用地整備事業 〔産業労働課、土地利用調整課〕 産業誘導拠点等に位置付けられた区域内で、産業用地整備を推進	・関係機関協議 ・産業用地整備に伴う各種検討	○

施策の柱③：中小企業の経営力強化

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
拡充	**中小企業経営力高度化支援事業** 〔産業労働課、次世代産業課〕 補助制度やセミナー、勉強会の開催により、市内中小企業・小規模事業者の人材育成・販路開拓など、経営力強化に資する取組を支援	・中小企業経営力高度化事業補助金の交付 ・事業承継支援 ・経営研究会の実施 ・カーボンニュートラル相談窓口	
拡充	**とよたイノベーションセンター運営事業** 〔次世代産業課〕 コーディネーターによる技術・経営相談、新技術・新産業創出支援セミナー等の開催、製造技術力や IT 活用などものづくり人材育成事業の実施	・技術・経営相談の実施 ・イノベーションセミナーの開催 ・製造技術者育成プログラム、デジタルものづくりカレッジの開催 ・豊田市 DX 推進プラットフォームの運営	

施策の柱④：中小企業のデジタル化の促進

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
拡充	**DX 促進事業**〔産業労働課〕 デジタル化の促進に向け、設備投資等への補助金、専門家の派遣、社内でデジタル化を推進できる人材を育成するための講座を実施	・デジタル化支援補助金の交付 ・テレワーク導入支援補助金の交付	○

Ⅴ-3-(2) 新たな産業を創造する基盤の構築

施策の柱①：新たな事業展開・イノベーション創出の促進

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	オープンイノベーション推進事業〔次世代産業課〕 開放特許等の新たな資源とのマッチングやピッチイベント等の開催により新製品開発や事業化を支援	・ベンチャーとのマッチングによる新製品・新サービス創出支援 ・ピッチイベント等による事業化支援	○

施策の柱②：スタートアップの誘引・誘発と事業化へ向けた支援

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
拡充	**スタートアップ支援事業**〔次世代産業課〕 「ものづくり創造拠点 SENTAN」を活用したハッカソン等の開催による市内外からのスタートアップ候補の掘り起こしとスタートアップ支援制度の運用	・ハッカソン等の開催によるスタートアップの掘り起こし ・ものづくり創造補助金の交付 ・次世代航空モビリティの普及啓発及び参入促進	○

施策の柱③：イノベーションを起こす人材の掘り起こし・育成

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	ものづくりミライ塾事業〔次世代産業課〕 社会課題の解決など大きな視点で一連の製品開発を経験することで、自ら考え、行動し、新製品等を創出できる人材を育成	・ものづくりミライ塾の運営	

Ⅴ-4-(1) 中心市街地商業のにぎわいの創出

施策の柱①：行ってみたくなる商業空間の創出

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
－	**－**〔－〕 －	－	

施策の柱②：中心市街地エリアの一体的なマネジメントの実施支援

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
－	**－**〔－〕 －	－	

施策の柱③：公共的空間の活用促進

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	まちなか広場空間活用事業〔商業観光課〕 中心市街地の広場（公共的空間）を多く活用させる取組を展開し、活用者の発掘や育成を行いながら、にぎわいを創出	・民主導による公共空間の活用事業の実施（あそべるとよた等） ・新たな活用方法検討	

Ⅴ-4-(2) 地域特性に応じた商業環境の整備

施策の柱①：地域コミュニティを担う商業機能の強化

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	商店街等事業機会拡大事業〔商業観光課〕 商店街などが取り組む、商業環境の変化に応じた対応や商店街のリーダー育成、創業支援などに対する補助	・商店街等の商業環境の変化に応じた対応や人材育成に対する補助	

施策の柱②：満足感ある生活ができる商業環境の整備

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	商店街等事業機会拡大事業〔商業観光課〕 商店街などが取り組む、商業環境の変化に応じた対応や商店街のリーダー育成、創業支援などに対する補助	・商店街等の商業環境の変化に応じた対応や人材育成に対する補助	○

V-5-(1) 多様な地域資源を生かした観光産業の振興

施策の柱①：戦略的観光マーケティングの推進

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	観光マーケティング推進事業〔商業観光課〕 一般社団法人ツーリズムとよたの運営を支援し、観光の産業化を推進	・(一社)ツーリズムとよたに対する補助金の交付や人的支援	
	インバウンド推進事業〔商業観光課〕 多言語化や情報通信環境の整備と、外国人を対象とした戦略的なプロモーションを展開	・計画に基づくプロモーションの実施及び滞在環境の充実	
新規	**宿泊関連事業者支援事業**〔商業観光課〕 魅力あるプランの醸成や情報発信を実施し、豊田市へのリピーターを増加させるため、市内宿泊関連事業者へ補助を実施	・宿泊関連事業者に対する補助金の交付(2022 年 10 月～2023 年 3 月)	

施策の柱②：観光産業を支える人材の育成

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	インバウンド推進事業〔商業観光課〕 多言語化や情報通信環境の整備と、外国人を対象とした戦略的なプロモーションを展開	・計画に基づくプロモーションの実施及び滞在環境の充実	○

V-5-(2) 地域資源を生かしたまちづくりの推進

施策の柱①：地域資源の発掘と磨き上げの促進

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
拡充	**わくわく事業**〔地域支援課〕 地域資源を活用し、地域課題の解決や地域の活性化のために地域住民が主体的に取り組む事業の経費を補助	・補助金の交付 ・事業の PR ・団体同士の情報交換の実施 ・制度の見直しの検討	

施策の柱②：地域資源を支える基盤の拡充

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	香嵐渓 100 年プロジェクト事業〔足助支所〕 植樹から 100 年を迎えようとするモミジの再整備や香嵐渓の景観を維持向上させるための仕組みづくり	・樹木植替え計画の策定 ・危険木、支障木伐採、施肥等	
	道の駅どんぐりの里いなぶ再整備事業〔稲武支所〕 豊田市産品の販売拡充等のため、どんぐり横丁の増改築や、イベント広場へのキャノピー（大屋根）の新築等を実施	・建築工事（どんぐり横丁の増築改修） ・新店舗での営業開始	

完了	**四季の回廊ミュージアム構想推進事業**〔小原支所〕 四季の回廊ミュージアム構想に基づき、川見さくら山遊歩道を始めとした施設整備を実施	・2021 年度完了	

V-6-(1) 多様な働き方で多様な人材が活躍する環境の整備

施策の柱①：企業の働き方改革の推進

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	働き方改革推進事業〔産業労働課〕 働き方改革への取組気運の醸成及び取組の推進を図るため、優良事業所表彰や、専門家派遣、セミナー開催等を実施	・優良事業所表彰の実施（第 10 回） ・アドバイザー講師の派遣 ・各種啓発セミナー及び事業所訪問の実施	○

施策の柱②：多様な人材の就労支援

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	就労支援事業〔産業労働課〕 若年者、中高年齢者、女性、定住外国人などに対する、スキルアップ支援やマッチングを実施	・就労支援セミナー、キャリアカウンセリングの実施 ・職業相談、職業紹介の実施 ・事業所と求職者との交流機会の提供	○

施策の柱③：将来の地域産業を担う人材の確保

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	地域産業の担い手確保支援事業〔産業労働課〕 就職、転職希望者や副業・兼業人材に対する地元中小企業の魅力発信や、市民生活や地域産業の維持に不可欠な担い手の育成確保を実施	・副業、兼業人材とのマッチングの支援 ・企業と学生等とのマッチング機会の提供 ・先輩名鑑の発行 ・インターンシップ受入の支援 ・高校生対象中小企業魅力発信事業の実施	

基本施策Ⅵ　環境

（総合計画本編 P.197～）

Ⅵ-1-(1) 脱炭素の実現に向けた未来都市の推進

施策の柱①：エネルギーの地産地消の推進

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
拡充	**地域エネルギー活用モデル構築事業** 〔未来都市推進課〕 環境負荷の少ない再生可能エネルギーの普及を促進するとともに、エネルギーの地産地消モデルを構築	・ゼロカーボンシティ実現に向けた再エネ地産地消の推進 ・エネルギー事業を活用した地域課題解決の推進	

施策の柱②：暮らしと産業の脱炭素化の推進

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	スマートハウス普及促進事業 〔環境政策課〕 太陽光発電システム、HEMS、蓄電池、次世代自動車等の導入に対する支援を行い、豊田市版スマートハウスの普及を促進	・スマートハウスや ZEH、次世代自動車等の導入に対する補助	

施策の柱③：森林吸収源対策の推進

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	間伐事業〔森林課〕 過密人工林を一掃するため、人工林の間伐推進を図り健全林に誘導	・市内人工林（公有林等を除く）の間伐 1,200ha	○

施策の柱④：気候変動適応策の推進

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	気候変動適応策推進事業〔環境政策課〕 豊田市地域気候変動適応計画策定及び気候変動適応セミナーなどを通じた情報発信	・適応策の推進 ・気候変動適応セミナー等による情報発信	

Ⅵ-2-(1) 廃棄物の減量化・資源化と適正処理の推進

施策の柱①：将来を見据えたごみ処理体制の確保

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	ふれあい収集事業〔清掃業務課〕 家庭から排出されるごみや資源をステーションまで持ち出すことが困難な高齢者及び障がい者等に対し、ごみ等の収集を支援	・申請の受付 ・現地調査 ・審査会の開催 ・個別収集	
	緑のリサイクルセンター大規模改修事業〔清掃施設課〕 刈草・せん定枝・食品残さを安定的かつ効率的に資源化するため、老朽化した設備の改修等を実施	・大規模改修工事の実施	
	渡刈クリーンセンター大規模修繕事業〔清掃施設課〕 施設の延命化のため、老朽化が進行している主要設備の大規模修繕を実施	・大規模改修工事の実施	

施策の柱②：減量化・資源化の促進

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	リユース工房促進事業 〔循環型社会推進課〕 再使用可能な粗大ごみ等の修復・清掃、展示販売により、物を長く使う、繰り返し使う意識を啓発・醸成し、ごみの発生を抑制	・リユース家具の入札：毎月 ・出張リユース工房の実施：3 回 ・リユース家具受入拡大方法の検討・実施	

施策の柱③：廃棄物の適正処理の推進

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	航空写真を解析した不法投棄等調査・指導事業〔廃棄物対策課〕 市内全域の不法投棄等を航空写真の解析により早期発見し、現地調査・是正指導を実施	・不適正処理が疑われる箇所の抽出と現場確認 ・是正指導	
	排出事業者への戸別訪問指導事業 〔廃棄物対策課〕 事業者の適正な廃棄物処理の理解を促進するため、市内全事業所を対象に戸別訪問指導を実施	・事業所への戸別訪問指導	
	市民との共働による不法投棄監視活動事業〔清掃業務課〕 市民・企業ボランティアである不法投棄パトロール隊との共働により不法投棄を早期発見・回収し、新たな不法投棄を監視及び抑止	・不法投棄パトロールの実施：3450 回	

Ⅵ-3-(1) 暮らしを豊かにする生物多様性の保全

施策の柱①：豊かな自然の把握と市民理解の促進

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	自然観察の森を拠点とした自然環境学習事業〔環境政策課〕 環境学習施設「自然観察の森」を拠点に、自然体験など自然環境に関する講座や学習を実施	・学習支援プログラム実施 ・自然体験講座実施 ・人材育成講座等実施	

施策の柱②：自然との触れ合いを通じた地域づくりの推進

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	ふるさとの川づくり事業〔矢作川研究所〕 地域住民の手による身近な小川の自然再生を通して地域の自然への愛着を醸成し、市民と行政が共働で自然豊かな川づくりを実施	・浚渫工事(広沢川) ・地域住民による川づくりの支援（広沢川） ・次期河川の募集及び選定	
	河畔環境整備支援事業〔矢作川研究所〕 河畔環境保全活動を行う水辺愛護会などの市民団体が、持続的かつ自発的な活動が展開できるよう支援	・作業用道路修繕 ・支援 HP の運営 ・検討部会の運営 ・植生調査、管理活動計画図の作成と実践支援	
	（仮称）水辺ふれあいプラザ整備事業〔矢作川研究所〕 自然とふれあう川の体験型学習施設として、一級河川籠川と一体となった水辺に緩傾斜護岸やふれあい水路等を整備	・工事	

施策の柱③：貴重な湿地と多様な水辺の保全

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	ラムサール条約湿地保全活用事業〔環境政策課〕 貴重な湿地や希少種を保全するため、地元や団体と共働で保全活動するとともに、環境学習の場としても活用	・上高湿地流域整備 ・10 周年記念行事等実施 ・保全活動の実施 ・観察会の実施	

Ⅵ-4-(1) 持続可能な社会を支える環境配慮行動の促進

施策の柱①：環境学習の充実

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	エコットを拠点とした暮らしの環境学習事業〔環境政策課〕 環境学習施設「エコット」を拠点に、省エネやごみのリサイクルなど身近な生活環境に関する学習や講座を実施	・工場見学、環境学習の実施 ・エコライフ講座の実施 ・積木キャラバンの実施	

施策の柱②：市民と事業者による環境配慮行動の促進

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	協定協議会における環境取組推進事業〔環境保全課〕 環境保全協定企業の持つ環境取組のノウハウを企業間で情報共有するとともに、他の企業や市民へ情報を発信	・事業者向け環境教育用教材（2 分野）の改訂 ・セミナー、環境学習会 ・Web サイト改修	
	SDGs ポイント事業〔環境政策課〕 市民等が気軽に「SDGs につながる行動」を実施できる場として、とよた SDGs ポイントシステムの企画・運営等を実施	・システムの運営・管理 ・取組の企画・立案	

基本施策Ⅶ　都市整備

（総合計画本編 P.215～）

Ⅶ-1-(1) にぎわいのある魅力的な都心の形成

施策の柱①：新たな交流拠点の形成

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	豊田市駅東口駅前・まちなか広場整備事業〔都市整備課〕 一般車等の交通動線を整理するとともに、人が滞留できる空間を整備することにより、回遊性を高め、にぎわいを創出	・東口駅前広場詳細設計	

施策の柱②：快適な回遊空間の形成

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	公共空間活用事業〔都市整備課〕 豊田市駅前の道路を歩行者空間として利活用し、にぎわいの創出を検証	・公共空間の活用 ・交通影響調査	
	市道西町若宮線整備事業〔都市整備課〕 道路の一部拡幅及び無電柱化整備等により、歩行者が安全で快適に回遊できる環境を整備	・用地取得	
	豊田市駅東口ペデストリアンデッキ整備事業〔都市整備課〕 豊田市駅東口駅前広場への動線や耐震性能を確保するとともに、まちなか広場等との一体利用を促進	・東口ペデストリアンデッキ詳細設計	
	都心地区サイン施設再整備事業〔都市整備課〕 既存サイン施設の情報更新や新規サイン施設の設置を行い、来街者の回遊性や利便性を向上	－	

施策の柱③：快適で利便性の高い公共交通基盤の形成

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	豊田市駅西口ペデストリアンデッキ整備事業〔都市整備課〕 公共交通利用者の円滑な移動及び耐震性能を確保するとともに、周辺の商業施設等と一体的な利用を促進	・西口ペデストリアンデッキ詳細設計	
	豊田市駅西口バスターミナル整備事業〔都市整備課、交通政策課〕 バス乗降場所を豊田市駅西口に集約し、公共交通利用者の利便性の向上を図るとともに、快適な待合環境等を確保	・バスターミナル詳細設計	
	豊田市駅整備事業〔都市整備課〕 豊田市駅の駅舎を改修し、鉄道利用者の利便性、快適性の向上を図るとともに、駅周辺のにぎわい創出を促進	・豊田市駅駅舎詳細設計	

Ⅶ-1-(2) 利便性の高い市街地の形成

施策の柱①：主要な鉄道駅周辺地区等での良好な市街地の形成

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	土地区画整理事業（土橋、寺部、花園、平戸橋、四郷駅周辺、若林駅周辺）〔区画整理支援課、市街地整備課〕 宅地や公共施設等の計画的な配置と整備により、住みよい良好な住環境を創出	・整備面積：7.0ha	
	新市街地整備事業〔市街地整備課、区画整理支援課、土地利用調整課〕 主要な鉄道駅の周辺等において、住宅需要に応える宅地を供給するとともに、都市機能や生活機能を確保し、居住誘導を推進	・まちづくり計画検討 ・地元組織の支援	

	優良建築物等整備事業（三河豊田駅周辺） 〔都市整備課〕 駅周辺において、一定規模以上の共同住宅の整備等に係る費用の一部を補助し、土地の共同化、高度利用化を促進	・事業計画合意に向けた事業者との協議	

Ⅶ-1-(3) 多様な二ーズに応える市街地定住の促進

施策の柱①：市街地における住宅・宅地の供給と取得支援の推進

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	優良建築物等整備事業（三河豊田駅周辺） 〔都市整備課〕 駅周辺において、一定規模以上の共同住宅の整備等に係る費用の一部を補助し、土地の共同化、高度利用化を促進	・事業計画合意に向けた事業者との協議	○

施策の柱②：主要な鉄道駅周辺地区等での新たな宅地の供給

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	市街化調整区域内地区計画の活用 〔定住促進課、都市計画課〕 鉄道駅周辺や市街化区域に隣接する地域等において、民間事業者による宅地開発を誘導	・制度の活用による民間宅地開発の誘導促進	○
	土地区画整理事業（土橋、寺部、花園、平戸橋、四郷駅周辺、若林駅周辺） 〔区画整理支援課、市街地整備課〕 宅地や公共施設等の計画的な配置と整備により、住みよい良好な住環境を創出	・整備面積：7.0ha	○

施策の柱③：定住意欲を高める情報発信の充実

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	定住促進プロモーション事業 〔定住促進課〕 定住促進プロモーション「ファースト暮らすとよた」を通じて、市内外の家族形成期を中心とした世代へ豊田市の魅力や住みやすさの PR を実施	・豊田市の住まいに関する魅力や住宅・宅地の供給情報の発信に力を入れた定期的なプロモーション活動 ・市内外のイベント出展 ・サイトによる情報発信 ・WEB 広告による情報拡散 ・PR 動画の放映 ・PR 冊子の配布	○

Ⅶ-1-(4) 憩いとうるおいをもたらす緑の空間の創出

施策の柱①：市民の憩いの空間の確保

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	身近な公園整備事業〔公園緑地つくる課〕 歩いて行くことのできる身近な公園の整備を進め、市民のコミュニケーションやレクリエーション、憩いの場を確保	－	
	中央公園第二期整備事業 〔公園緑地つくる課〕 誰もが憩うことのできる快適な空間を創出するとともに、都心や豊田スタジアムとも連携して多世代の交流を促進する空間を創出	・用地取得 ・民間事業者２次サウンディング	
	区画整理内公園整備事業 〔公園緑地つくる課〕 区画整理内の公園の整備を進め、市民のコミュニケーションやレクリエーション、憩いの場を確保	・区画整理内公園設計：3 公園 ・区画整理内公園整備工事：4 公園	

施策の柱②：緑あふれる快適な住環境の形成

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	民有地緑化促進事業〔公園緑地つかう課〕 市民や事業者との共働により民有地の緑化を促進し、うるおいをもたらす緑あふれる空間を創出	・緑化義務制度の運用 ・民有地緑化に対する補助	

Ⅶ-2-(1) 生活・産業を支える道路ネットワークの形成

施策の柱①：物流ネットワークの強化と高規格幹線道路へのアクセス性の向上

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	豊田刈谷線整備事業〔街路課〕 都市間交流を支える幹線道路として事業を推進し、交通の円滑化や物流の効率化を確保	・調査設計 ・用地取得 ・工事	
	高橋細谷線整備事業〔街路課〕 主要産業施設等へのアクセス機能の拡充を図るとともに、市民が安全で快適に移動できる道路環境を確保	・調査設計 ・用地取得 ・工事	
	浄水駅北通り線ほか１路線整備事業 〔幹線道路推進課〕 豊田北バイパスの整備に合わせて事業を推進し、交通の円滑化やバイパスへのアクセス性向上を確保	・調査設計 ・用地取得	
	豊田南バイパス関連市道整備事業 〔幹線道路推進課〕 豊田南バイパス（東新町～逢妻町）の整備により分断される市道の機能回復や、安全な地区内生活交通確保のための市道整備を実施	・調査設計 ・用地取得 ・工事	

	豊田北バイパス関連市道整備事業 〔幹線道路推進課〕 豊田北バイパス（逢妻町～勘八町）の整備により分断される市道の機能回復や、安全な地区内生活交通確保のための市道整備を実施	・調査設計 ・用地取得 ・工事	
	県道宮上知立線関連市道整備事業 〔幹線道路推進課〕 県道宮上知立線（中田町～大島町）の整備により分断される市道の機能回復や、安全な地区内生活交通確保のための市道整備を実施	・調査設計 ・用地取得 ・工事	

施策の柱②：渋滞対策の推進

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	豊栄河合線整備事業〔街路課〕 地域間を結ぶ幹線道路として事業を推進し、交通の円滑化や生活環境の安全を確保	・工事（河川部取付）	

施策の柱③：鉄道駅へのアクセス性の向上

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	若林駅前線整備事業〔街路課〕 若林駅付近連続立体交差事業に合わせ事業を推進し、若林駅へのアクセス性や利便性を向上	・調査設計	
	若林東西線整備事業〔街路課〕 若林駅付近連続立体交差事業に合わせ事業を推進し、若林駅周辺の交通の円滑化や若林駅へのアクセス性向上を確保	・調査設計 ・用地取得	
	若林高架側道整備事業〔街路課〕 若林駅付近連続立体交差事業に合わせ事業を推進し、地域住民の快適な移動環境や若林駅へのアクセス性向上を確保	・用地取得	

	西岡吉原線整備事業〔街路課〕 若林駅付近連続立体交差事業に合わせ事業を推進し、若林駅周辺の交通の円滑化や若林駅へのアクセス性向上を確保	・調査設計 ・用地取得	
	越戸駅前広場整備事業〔街路課〕 県道西中山越戸停車場線事業に合わせ事業を推進し、越戸駅へのアクセス性や利便性を向上	・工事	

Ⅶ-2-(2) 利便性が高く持続可能な公共交通ネットワークの形成

施策の柱①：鉄道による名古屋市とのアクセス機能強化

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	若林駅付近連続立体交差事業〔街路課〕 若林駅付近の鉄道の高架化と側道整備により、地域住民の快適な移動環境を確保	・調査設計 ・工事 ・用地取得	
	名鉄三河線複線化事業〔都市計画課〕 リニア中央新幹線開業を見据え、名古屋との移動時間短縮等、鉄道の利便性向上に向け、名鉄三河線の複線化や駅へのアクセスを強化	・鉄道駅の利便性向上及び利用促進に向けた調査	○
	名鉄三河線複線化関連道路整備事業〔都市計画課〕 名鉄三河線の複線化事業と合わせて中心市街地と南部地域を結ぶ幹線道路を整備し、交通の円滑化や周辺地域の利便性・安全性を向上	・関連道路整備に係る協議調整	

施策の柱②：公共交通の質の向上

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	基幹バス運行事業〔交通政策課〕 市中心部や各地域を結ぶとよたおいでんバスを効率的に運行し、広域的な移動手段を確保	・とよたおいでんバスの運行：１２路線	
	地域内移動手段確保事業〔交通政策課〕 地域住民と市の共働により地域内を走るバス等を運行し、地域特性や需要に応じた交通サービスを提供	・地域バスの運行：11 地域 ・地域タクシー運行：4 地域 ・次世代デマンドシステムの導入：2 地域	

Ⅶ-2-(3) 人と環境にやさしく安全で快適な交通まちづくりの推進

施策の柱①：先進技術を活用した安全で快適な交通まちづくり

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	先進移動技術等実証事業 〔未来都市推進課〕 規制緩和や各種支援事業を通じた先進技術実証の推進及び地域課題・市民生活向上に資する「移動サービス」の担い手育成・支援	・先進移動技術実証の推進 ・新たな移動サービスの導入支援	

施策の柱②：人と環境にやさしい交通社会の形成

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
－	**－**〔－〕 －	－	

Ⅶ-3-(1) 安全・安心な水道水の安定供給の実現

施策の柱①：効率的な水運用の推進

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	藤岡地区給水区域再編事業〔(上下水) 企画課、水道整備課、上水運用センター〕 安全な水道水を安定して供給するため、藤岡地区において、県営水道等への配水系統の切替え・再編を実施	・高水圧対策の検討 ・施設切替計画の策定 ・仮設、撤去工を勘案した事業計画の更新	

施策の柱②：水道施設の適正な維持管理の推進

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	老朽管整備事業 〔(上下水) 企画課、水道維持課〕 水道ストックマネジメント計画に基づく、老朽管整備を実施	・老朽管整備事業　L=7,425m	
	老朽施設整備事業 〔(上下水) 企画課、上水運用センター〕 水道ストックマネジメント計画に基づく、老朽施設整備を実施	・老朽施設整備工事（機械、電気、計装類）豊田配水場、乙部ケ丘高区中継所、猿投配水場ほか	

Ⅶ-3-(2) 汚水の適正な処理による快適な生活環境の実現

施策の柱①：集合処理区域における適切な汚水処理の推進

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	下水道整備事業〔下水道建設課〕 下水道による整備の費用対効果が高いと見込まれる地域において、計画に基づき下水道整備を推進	・管路工事（面整備）：73ha	

施策の柱②：個別処理区域における適切な汚水処理の促進

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	合併処理浄化槽設置促進事業 〔下水道施設課〕 水質保全と衛生的な環境維持のため、合併処理浄化槽の設置・転換に対し補助金を交付	・合併への転換に対する補助：170 基	

施策の柱③：下水道施設の適正な維持管理の推進

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
－	**－**〔－〕 －	－	

基本施策Ⅷ　地域経営

（総合計画本編 P.243～）

Ⅷ-1-(1) 市民力・地域力・企業力を生かした共働のまちづくりの推進

施策の柱①：都市内分権の推進

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
拡充	**わくわく事業**〔地域支援課〕 地域資源を活用し、地域課題の解決や地域の活性化のために地域住民が主体的に取り組む事業の経費を補助	・補助金の交付 ・事業の PR ・団体同士の情報交換の実施 ・制度の見直しの検討	○
拡充	**地域課題解決事業**〔地域支援課〕 地域の意見を市の予算に反映し、地域と共働で課題に対応	・地域課題解決事業の実施	

施策の柱②：市民活動のすそ野の拡大

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	市民活躍応援事業 〔とよた市民活動センター〕 多様な主体が活発に活動できるよう応援し、市民活動を促進	・市民活動促進補助金の交付 ・市民活動情報サイトのリニューアル	
	市民活動体験支援事業 〔とよた市民活動センター〕 誰もが気軽に市民活動を知り、参加体験ができる取組の実施	・とよたつながる博の実施	
	社会人による公益活動促進事業 〔とよた市民活動センター〕 社会人によるボランティア参加の場を創出し、市民活動団体が行う「共働によるまちづくり」活動を促進	・プロボノプロジェクトの実施	

施策の柱③：活動を促進する環境の整備

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	若園交流館・若園中学校技術科棟改築事業〔市民活躍支援課、学校づくり推進課〕 施設の老朽劣化や利用者ニーズの多様化による機能不足に対応するため、若園交流館と若園中学校技術科棟の合築を実施	・本体建設工事	
完了	**藤岡地区地域核整備事業**〔藤岡支所〕 アクセス道路の整備による安全確保と利便性向上とともに、地域住民が主体的に取り組むソフト事業を通じて、地域の賑わいを創出	・2021 年度完了	

Ⅷ-2-(1) 多様な市民が活躍できる国際まちづくりの推進

施策の柱①：多文化共生のまちづくりの推進

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
拡充	**日本語教育促進事業** 〔国際まちづくり推進課〕 在住外国人が地域社会で円滑な日常生活を送れるよう、必要な日本語能力を育む切れ目のない日本語学習支援施策の体系化を実施	・NPO 法人等との連携による、幼少期における日本語指導及び学校教育等の補完的学習支援、不就学者等に対する学習支援 ・とよた日本語学習支援システムの運営（初期レベルの日本語教室の開催） ・「豊田市における地域日本語教育の基本方針」に基づく日本語学習等支援策の実施及び見直し・拡充案検討 ・多文化子育てサロンの検討・実施	
	外国人児童生徒等教育事業〔学校教育課〕 外国人児童生徒等の小・中学校への適応を進めるため、日本語指導や学習相談、支援等を実施	・外国人児童生徒等サポートセンターでの翻訳・通訳支援、教員への学習相談支援 ・学校日本語指導員による学習、学校生活支援	○

	外国人市民の住みやすさ向上事業 〔国際まちづくり推進課〕 外国人市民の意見を市の取組に反映させるとともに、外国人への効果的な情報伝達体制を確立	・外国人の意見を聴く会の開催 ・多文化共生キーパーソン及びパートナーズとの連携による情報発信力強化、研修・交流会の開催 ・Facebook、ホームページを活用した生活情報等動画作成及び発信	

施策の柱②：国際化に対応した人づくりの推進

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	国際理解・啓発事業 〔国際まちづくり推進課〕 地域の国際化のため、多様な国の言語や文化に関する関心・理解を深め、活動を実践できるイベントや講座を幅広い層を対象に開催	・（公財）豊田市国際交流協会と連携し、「教育・啓発」「活動実践」の段階に応じた、国際理解・啓発を目的とするイベントや講座の実施 ・（仮）国際交流入門講座及び（仮）SDGs 実践イベントの実施	
	姉妹都市交流事業 〔国際まちづくり推進課〕 市民や学生の姉妹都市への相互派遣等により、友好親善及び異文化理解を促進	・デトロイト市交換学生派遣事業 ・ダービーシャーとの交流事業（子ども会議等） ・ダービーシャー高校生派遣事業	
	中学生海外派遣事業〔学校教育課〕 多文化共生、相互理解の大切さを学び、国際的な視野を広げるため、中学生の海外派遣を実施	・イギリス、アメリカ、アジアへの中学生派遣：84 人	

Ⅷ-3-(1) 自立とつながりによる山村地域等の振興

施策の柱①：移住・定住のための環境づくり

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	いなか暮らしコーディネート事業〔企画課〕 おいでん・さんそんセンターを中心に、移住希望者の「住まい」「暮らし」「生業」を総合的に支援し、山村地域への移住を促進	・いなか暮らし総合窓口の運営 ・山村地域移住プロモーションの実施	○
	空き家・空き地情報バンク事業〔地域支援課〕 空き家・空き地情報バンクに登録された山村地域等の空き家・空き地と移住希望者のマッチングを行い、移住定住を促進	・空き家・空き地情報バンクの運用 ・空き家・空き地所有者及び利用希望者への支援	○
	定住者の住宅・宅地取得支援事業〔定住促進課〕 山村地域等において、住宅取得に係る費用の一部を補助し、定住者の増加や健全なコミュニティの保持と地域づくりを実施	・住宅・宅地の取得に対する補助	

施策の柱②：地域を支える担い手づくり

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	交流コーディネート事業〔企画課〕 おいでん・さんそんセンターにより、都市部と山村部をコーディネートするとともに、その魅力や山村部の価値を発信	・都市部と山村部の交流コーディネートの実施 ・山村部の価値・魅力 PR	○
	足助地域核エリア再生事業〔足助支所〕 地域資源や地域特性を生かした事業創出を通じて、地域の担い手の創出と地域が自立的に存続するための仕組みを構築	・地域資源等を活用した事業創出支援 ・エリア再生推進のためのしくみの検討・構築 ・支所・公共施設等のあり方検討	

拡充	**わくわく事業**〔地域支援課〕 地域資源を活用し、地域課題の解決や地域の活性化のために地域住民が主体的に取り組む事業の経費を補助	・補助金の交付 ・事業の PR ・団体同士の情報交換の実施 ・制度の見直しの検討	○
	豊森なりわい塾事業〔企画課〕 山村をフィールドにこれからの生き方・働き方・社会のカタチを考え、山村の担い手、関係人口を創出	・新豊森なりわい塾の事業立案に向けた検討	

Ⅷ-4-(1) 未来を見据えた持続可能な行財政運営

施策の柱①：市民サービスの向上

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
－	**－**〔－〕 －	－	

施策の柱②：事務・事業の最適化の推進

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
－	**－**〔－〕 －	－	

施策の柱③：財政計画に基づいた財政運営

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
－	**－**〔－〕 －	－	

Ⅷ-4-(2) 公共施設等の適切な管理の推進

施策の柱①：公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
－	**－**〔－〕 －	－	

Ⅷ-4-(3) 先進技術等を活用した地域課題解決の推進

施策の柱①：多様な主体の新たな取組への支援

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	次世代社会システム推進事業 〔未来都市推進課〕 市の課題解決に資する先進実証の支援及び早期実用化の推進	・本市における実証支援 ・実装に向けた規制緩和支援 ・AI、IoT 等の積極的活用	○

施策の柱②：取組の見せる化

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
	とよたエコフルタウン推進事業 〔未来都市推進課〕 SDGs の概念・取組の見せる化や先進技術実証の見せる化、サービスの体感・ニーズの集約を実施	・ガイドツアー ・先進技術展示 ・サービス体験 ・イベント実施 ・機能移転	
拡充	**SDGs 未来都市推進事業** 〔未来都市推進課〕 SDGs 未来都市の取組事例の国内外への発信	・とよた SDGs パートナーとの連携事業及び活動支援 ・イベント・展示会、出前講座等での取組発信 ・とよた SDGs パートナー「認証」制度の構築検討 ・「SDGs 理解促進ツール」の共働制作	○

Ⅷ-4-(4) 共働による地域情報化の推進

施策の柱①：ICT の活用による行政サービスの質の向上及び効率的な行政運営の実現

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
拡充	**市役所のデジタル化・スマート化** 〔情報戦略課〕 電子申請や AI・RPA 等を活用した窓口のスマート化を図るとともに、ノウハウ等を AI・データベース化し、行政サービスの質を向上	・スマート窓口の構築 ・AI を活用した効率的な相談支援体制の構築 ・既存システムの利活用促進	○

施策の柱②：ミライのフツーに向けた次世代通信網・データ等の活用

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
拡充	**次世代通信網・データの活用の推進** 〔情報戦略課〕 5G 等を活用した新サービスの創出に向け、先進技術による実証実験や、オープンデータ・ビッグデータ等を効果的に活用した取組を実施	・オンライン発券、プッシュ型通知の活用に向けた実証、オープンデータ・ビッグデータの活用	○

Ⅷ-4-(5) 戦略的な広域連携の推進

施策の柱①：新たな都市間連携の推進

方向性	実践計画事業名〔担当所属〕 事業概要	2022 年度実施概要	再掲
－	－〔－〕 －	－	

6　参考資料

（1）SDGs 概要

「SDGs（エスディージーズ）」とは、2015 年 9 月に「国連持続可能な開発サミット」で採択された、17 のゴールから構成される国際目標です。

豊田市では、2018 年 6 月に SDGs 達成に向けた取組を先導的に進めていく自治体「SDGs 未来都市」として内閣府から選定を受け、SDGs が掲げるゴールと総合計画の取組との関連を見える化し、SDGs に関する普及啓発・理解促進を図っています。

■SDGs で掲げる 17 のゴール

●貧困をなくそう
あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる

●飢餓をゼロに
飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する

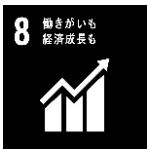
●すべての人に健康と福祉を
あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する

●質の高い教育をみんなに
すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する

●ジェンダー平等を実現しよう
ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う

●安全な水とトイレを世界中に
すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する

●エネルギーをみんなにそしてクリーンに
すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する



●働きがいも経済成長も
包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する

●産業と技術革新の基盤を作ろう
強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る

●人や国の不平等をなくそう
各国内及び各国間の不平等を是正する

●住み続けられるまちづくりを
包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する

●つくる責任つかう責任
持続可能な生産消費形態を確保する

●気候変動に具体的な対策を
気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる

●海の豊かさを守ろう
持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する

●陸の豊かさも守ろう
陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する

●平和と公正をすべての人に
持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する

●パートナーシップで目標を達成しよう
持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

（2）2022 年度 SDGs ゴール別実践計画事業数

	重点施策			基本施策								合計
	（1）	（2）	（3）	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	※
1 貧困をなくす	–	–	–	2	–	2	1	–	–	–	–	4
2 飢餓をゼロに	–	–	–	–	1	1	1	5	–	–	–	8
3 すべての人に健康と福祉を	16	–	–	5	7	17	8	1	1	4	–	47
4 質の高い教育をみんなに	4	3	2	7	37	1	4	2	2	–	7	55
5 ジェンダー平等を実現しよう	1	2	–	–	4	–	–	2	–	–	–	4
6 安全な水とトイレを世界中に	–	–	–	1	4	–	6	1	2	7	–	19
7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	–	–	–	–	–	–	–	–	3	–	–	3
8 働きがいも経済成長も	3	10	2	–	3	3	–	19	–	14	4	39
9 産業と技術革新の基盤をつくろう	–	7	3	–	1	–	–	14	–	19	4	35
10 人や国の不平等をなくそう	1	–	–	1	3	–	–	–	–	–	5	8
11 住み続けられるまちづくりを	9	7	6	–	14	12	24	15	12	41	13	130
12 つくる責任つかう責任	–	–	–	–	1	–	–	–	9	1	–	11
13 気候変動に具体的な対策を	–	–	1	–	–	–	17	–	2	2	–	22
14 海の豊かさを守ろう	–	–	–	–	–	–	–	–	–	2	–	2
15 陸の豊かさも守ろう	–	–	–	–	–	–	–	9	6	3	–	17
16 平和と公正をすべての人に	1	–	1	3	1	1	7	–	–	–	1	14
17 パートナーシップで目標を達成しよう	6	2	8	–	16	2	4	5	6	1	14	51
合計※	17	16	12	13	39	18	36	31	19	40	23	

※1 つの事業に複数の SDGs ゴールが設定されている場合や、1 つの事業が複数分野に位置付く場合があるため、各分野や SDGs ゴールの事業数の計と一致しません。

第８次豊田市総合計画
後期実践計画事業集（2022 年度版）

2022 年 3 月

〔発行〕
豊田市　企画政策部　企画課
〒471-8501　豊田市西町 3 丁目 60 番地
電　　話：0565-31-1212（代表）
　　0565-34-6602（直通）
Ｅ-mail：kikaku@city.toyota.aichi.jp